新潟医療福祉大学 同窓会誌

2014.3 I No.10

NIIGATA UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE AN ALUMNIBULLETIN  $G\ O\ T\ O\ H$ 



#### 第4回ホームカミングデー開催 Р3

・新卒業生への祝辞	P1	・同窓生は今	P11	・国際交流	P20
・設立10周年記念式典	P7	・学科近況	P13	・卒業生の就職状況	P21
·OT·ST連携研修会開催	Р8	・第13回新潟医療福祉学会·学術集会	P15	· 学友会活動報告	P23
国家試験出陣式		・研究室Now!	P16	伍桃祭開催報告	
· Tool of Professional	Р9	・県人会活動報告	P17	・強化指定クラブ紹介	P24
・先輩訪問	P10	·大学TOPIC	P18	・大学院案内	P27

# 新卒業生への祝辞

Congratulatory address



新潟医療福祉大学学長 山本 正治

# [855A]。"社会の歯車になれ!"

卒業おめでとうございます。皆さまが入学されたのは平成22年4月でした。この年度は私にとって思い出深い年度です。私が学長として初めて入学式の壇上に立った年でした。諸君は、私が学長となって初めて送り出す卒業生です。大役を果たせて嬉しい限りです。

卒業までの4年間、社会は激しく揺れ動きました。1年次の3月には東日本大震災が起こりました。2年次は震災後の混乱が続いた年でした。そして3年次にはロンドンオリンピックがあり、日本の女子パワーを実感しました。4年次には2020年の東京オリンピック開催が決まるなど嬉しいこともありました。しかし概してこの4年間、特に東日本大震災後は、政治・経済・社会あらゆる面で大変な時であったと思います。

皆さまはこれから社会に出て働きます。学内ではあまり関わりの少なかった政治・経済・社会問題と直面します。人生の先輩である私は、社会に出る皆さまのことをちょっと心配しています。私と同じことを心配している人がいましたので紹介します。「暮しの手帳」編集長の松浦弥太郎さんです。「もし僕がいま25歳なら、こんな50のやりたいことがある。」という本を書いています。現在48歳ですが、もし自分が25歳に戻れたなら何をしておくべきだったかを50の項目にまとめています。「風邪をひかない」など当たり前のことも上げていますが、私はこの中から最も大事なこととして3つを選びました。一つ目は「まねをする」、二つ目は「"好き"を深掘りする」、三つ目は「社会の歯車になる」です。

松浦さんは「自分が憧れる素敵な人を見つけ、進んでまねをすること。」

が大事と言っております。私は、まねをするうちにそれが将来の自分の姿 になっていくと思っています。今まで人まねをすることは良くないとネガティ ブに捉えられてきましたが、これからはポジティブに捉えるべきです。

次に「"好き"を深掘りする」ですが、「好きなことは、自分の仕事や生活 と直結していなくてもかまいません。自信をもってひとつのことを語れるよう になればすごいことです。」と言っております。私も同感です。私は、大学 で学んだ専門領域をさらに掘り下げていただきたいと思います。

最後は「社会の歯車になる」ですが、「社会に参加する、貢献する、もしくは役に立つということを考えると、自分が社会の小さな歯車になるということではないか。」と言っております。今まで社会の歯車になることはネガティブに捉えられてきました。しかし「ネガティブな歯車から脱却してポジティブな歯車になること。こう考えることができたら、それだけでも自分が成長したことになる。」と言っております。大学で学んだ専門領域を社会で活かし、小さくてもピカリと光る歯車になっていただきたいと思います。

以上をまとめます。20代ではまず自分が憧れる人の生き方を進んでまねをすることから始めてはいかがでしょうか。それが将来の自分の姿になっていくはずです。さらに自分が好きな領域を掘り下げ、その道の専門家になるよう心がけて下さい。これからは何ごとも恐れず日々の仕事を着実に積み重ねることで、将来職場や地域社会の中で小さくてもピカリと光る存在になっていただきたいと期待しています。



新潟医療福祉大学 同窓会長 **齊藤公二** 

# ESSAGEご卒業おめでとうございます

10期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。また、新潟医療福祉大学同窓会の正会員になられましたことを心よりお喜び申し上げます。

さて、平成25年度で本同窓会が設立して早10年が経過しました。現在 はのべ6千人の同窓会員がおり、その多くが全国各地でQOLサポーター として活躍しています。

私たち同窓会は、会員の皆様がどんな情報を伝えれば活かせるか、どんな研修会を開催すればためになるか、これまで日々模索してまいりました。10年が経ち、遅ればせながら気が付いたことは、「私たちにしかできないことがある」ということです。最新の話題、技術、取組、それらは論文や専門書、学会で学べばいいことです。新潟医療福祉大学で共に学び、経

験した同窓生たちが、今、どこで、何を考え、何をしているか、私たちは、どの論文や学会でも知ることのできない多くの情報を先輩、後輩、恩師、地域の方々へ届けすることができると考えています。新潟医療福祉大学というフィルターを通すからこそできる事業を今後も展開していきます。もちろん、同窓生による在学生支援も欠かせません。

最後に、本同窓会設立10周年を記念致しました式典を平成26年度秋 に計画しております。同窓生や先生方を招き、盛大なパーティーを行いた いと考えております。詳細は追ってご連絡いたします。ぜひ多数のご参加 お待ちしております。



#### 卒業を祝して

国際交流・強化スポーツ担当副学長 渡辺 敏彦

平成26年3月に卒業する10期生の皆さん、卒業おめでとうございます。大学で4年間学んだ知識・技術を駆使して社会人一年生として大活躍してくれることと確信しております。この機会に、サミエル・ウルマン(詩人)の「青春」という詩の一節を皆さんに紹介にしてお祝いの言葉と致します。「青春とは人生のある期間のことを示すのではなく、心のありかたをいうのだ。(中略)ときには、二十歳の青年よりも六十歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。」即ち、挑戦する勇気と冒険心を失えば、それは青春とは言えないという意味です。皆さんには、入学時のキラキラした瞳と挑戦する気持ちを社会人としても常に持ち続け、人生を青春して頂きたいと思います。



自分の成長に 誇りをもって社会に

教育担当副学長/医療技術学部長 江原 義弘

私が大学に入学した当時を思い出すと、クラブ活動で指導してくれた4 年生の先輩が本当に大人に見えたのを覚えています。いまこうして教員になって新入生をみると、学生たちが子供に見えます。振る舞いをみると、中学生か、と思うような学生もいます。校舎の床でバスケットボールを弾ませて大きな音を立てている1年生を見たときはびっくりしました。そのような1年生が大学の授業を受け、実習をし、基礎ゼミに参加し、病院見学をし、レボートを書くようになると徐々に大学生らしくなっていきます。クラブ活動やサークルで下級生を指導するようになり、アルバイトをし、友人と議論し、プレゼンをし、臨床実習を経験すると社会人としての下地ができてきます。さらに卒業研究や資格試験勉強で友人と協力する気持ちや向学心がますます強固になったことでしょう。そしていま皆さんは大学の課程をすべて修了して実社会へと巣だっていきます。おめでとう。皆さんは、わたくしが1年生の時に見た4年生の先輩方の大人の顔と同じになっています。大学での自分の成長に誇りと自信をもって社会に飛び出してください。ほんとうにおめでとう。



MESSAG

# ご活躍を祈念します

MESSAGI

地域連携担当副学長/社会福祉学部長 九 田 秋 男

10期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新潟 医療福祉大学で学んだことを誇りにして存分にご活躍く ださい。皆さんは、これからの保健・医療・福祉・スポーツ 等の第一線の現場で働くときに、あらためて「何を拠り所 にするのか」を自分に問い掛けてみてください。それぞ れの専門職像によって「何を拠り所にするか」は異なる でしょうが、少なくとも「生命の価値」、「人間の尊厳」ある いは「社会正義」とは何かについて追求し続けることを 望みます。皆さんが直面する日本社会は、住まい・医療・ 介護・予防・生活支援の一体的提供の仕組みづくり(地 域包括ケアシステム)の構築が余儀なくされます。それ ぞれの専門職像をとおして自己実現を目指すことは当然 のこととして、共生社会や21世紀型コミュニティの実現に 向けて社会に貢献できる専門職を目指してください。

# 』、10春



#### 卒業おめでとう

# MESSAG

MESSAGE

#### 卒業を祝して

作業療法学科十期生の皆さん、ご卒業おめでと

うございます。卒業式を迎えられ、皆さんはきっと喜

びと希望に満ち、大きな達成感を感じておられること

人生の中では、これからもいくつものハードルが

やってきます。自分の未来は自分で切り開き、創り上

げるものですから、これからも皆さんは持ち前の力強

い精神力と行動力でその困難を撃破してください。

皆さんの二十年後、三十年後がとても楽しみです。

皆さんのご活躍を心から応援しています。



#### 卒業を祝して

言語聴覚学科長

山岸 達弥



#### 作業療法学科長 大山 峰生



第10期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。 4年間の大学生活はどのようなものになりました か。楽しかったこと、苦しかったことなど、様々な思い

出があると思います。これから言語聴覚士として夢 の第一歩が踏み出されます。臨床現場では、教科 書だけでは解決できない困難な課題にいくつも直面 するでしょう。その困難な課題を自分の力で解決でき るように、今後とも生涯学習を継続していってほしい と思います。

「言語聴覚士になってよかった | と思えるような充 実した毎日を送ってください。皆さんの今後のご活躍 を期待しております。





理学療法学科卒業生の皆さん、ご卒業おめでと うございます。国家試験も終了し、後は結果を待つ ばかりとなりました。4年間、様々なことがあったかと思 いますが、この4月からは理学療法士として病院・施 設で活躍されることと思います。これからの人生、大 学で培った力を源とし、自由な発想とともに積極的に 行動を起こし、楽しく悔いのない人生を送られること を期待しています。今後の皆さんの健康と益々のご 活躍を祈願致します。



と思います。

**卒業を祝して** 



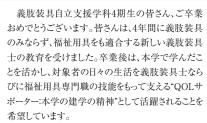
MESSAGE

## 卒業を祝して



#### 義肢装具自立支援学科長 東江 由起夫

卒業を祝して



また、将来、皆様が自己の技能をさらに高め、直の 専門職として義肢装具業界ならびに福祉用具業界 を牽引する人材になることを教員一同、切に願って います。



健康栄養学科長 斎藤 トシ子

健康栄養学科10期生の皆様、ご卒業おめでとう ございます。皆様は保健・医療・福祉など、幅広い分 野で活躍することになると思いますが、どの分野で も、管理栄養士・栄養士は「食べることは生きること、 生きることは食べること」の現場・いのちの食の最前 線に立ち、人々の尊厳あるよき人生に責任をもつ医 療職性を有する専門職であることを忘れないでくだ さい。さあ、これからがスタートです。着実・誠実に、そ してチャレンジ精神を大切に幸せな人生を歩むこと をお祈りしています。



## 健康スポーツ学科長 丸山 敦夫

卒業おめでとうございます。4年間の皆さんの成 長する姿を見てたいへん心強く思います。健康ス ポーツ学科で身に付けた専門性やコミュニケーショ ン能力はどんな仕事でも十分に発揮できると自負し ております。

大学時代の仲間は一生ものだとも言います。仲間 を大切にしてください。そして皆さん一人ひとりが持 つエネルギーで周りの人を明るくしていき、たくましく、 かつ、楽しく、充実した人生を送ることを期待しており すす。





卒業を祝して

MESSAGE



社会福祉学科長 伊東 正裕

社会福祉学科第10期生の皆さん、ご卒業おめで とうございます。

皆さんは今日、4年間親しんだ学び舎を巣立ち、社 会の一員として長い旅に出ます。これからの人生に はいろいろなことが待ち受けていると思いますが、自 分を見失わず、希望を持って立ち向かってください。 当学科で学んだことや経験したことを生かして、たく ましく乗り越えて行きましょう。それでも困ったときには いつでも相談にお出でください。母校は皆さんを待っ ています。

皆さんのこれからの旅が、実り多く、幸いに満ちた ものになりますように!



第一期生、卒業おめでとう! 心からお祝い申し上げます!

医療経営管理学部長/医療情報管理学科長 福島正巳

この4年間は、私にとって真に意義深いものでし た。卒業する君達と歩んだこの時間は想像以上に 速く過ぎ去りました。多くのものを君達から頂きまし た。感謝します!まだまだ伝えきれない事も多くあって 心残りではありますが、君達が選択した次のステップ に委ねましょう…。 これからの長い人生をしっかり 生きぬいて下さい。『努力しても報われない事はある が、努力しなければ決して報われる事はない』忘れ ないで下さい。

TRY AGAIN !!!



卒業を祝して



この4年間、充実した大学生活を送られたことと思 います。専門的な知識と技術、態度を学んだだけで なく、専門職集団の一員として仲間ができたことも大 きな成果といえるでしょう。互いに刺激し合い、学び 合いながら、成長していかれることを願っています。

平成25年度は第一期生が本学大学院に入学し ました。その他にも大学院入学を果たした卒業生も いると聞いています。まだまだ学びたいという皆さん の希望に添えるよう、教員一同これからも取り組んで いきます。

皆さんのご健康とご活躍を祈念しています。



# 第**4**回

# HOMECOMING DAY

# 

10月13日(日)新潟医療福祉大学講義棟D204教室において第4回ホームカミングデーが開催されました。

例年著名人による記念講演をおこなっていましたが、今年は新卒の同窓生による卒後半年間の専門職・社会経験をもとにした実践報告会として、理学療法、作業療法、言語聴覚、義肢装具、健康栄養、健康スポーツ、看護、社会福祉の8つの専門職に就いて感じたことを発表していただきました。また、在学生による多職種の連携を目的とした「連携総合ゼミ」研究発表もおこないました。

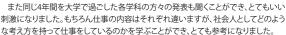


## 実践報告



#### (1)参加した感想

半年間の専門職実践報告会ということで、社会人になって半年経ち、どのような気持ちで、どのような目標を持ち仕事を全うしているかを振り返るいい機会となったと思います。



報告会自体の雰囲気も良く、報告し合うのにとてもいい環境でした。発表後に先 輩方や先生方からアドバイスをもらうこともでき、今後仕事していく中で新たな目標 を立てることもできました。



中村 拓馬さん (理学療法学科) 2013年卒

#### 2 参加した得たもの

報告会のように公共の場で発表することで、自分が今までしてきたことや入職して 目標が達成できていたかどうかなどを改めて振り返ることができるので、今回のような報告会は有意義な時間を過ごせるとてもいい会だと感じています。

#### 3 同窓生に一言

何事にも目標を持って行動することは大切なことで、働く上で原動力になると思います。同窓生の皆さんも社会人の一員として社会の役にたてるよう今後も目標を持って頑張っていきましょう。

#### 1 参加した感想

同時期の卒業生の他学科の方々と職場についての特色を発表し合うことで、理解が深まったと共に今まで学生だった私たちが社会に出て試行錯誤してよりよいサービスを利用者の方々に提供している姿勢がとても良い刺激になりました。大勢の前で発言することが苦手な私にとって発表する前は上手く伝えられるかなどの不安でいっぱいでした。しか発表してみるとあっという間に感じ、他学科の方との意見交換や質疑応答を行えて大変貴重な体験が得られたと感じました。また今回スライドを作成するにあたって、プログラムの主旨や自分の考えを振り返り且つまとめる良い機会になったように思います。最後にスライドを完成するのにあたり友人や写真提供に協力して頂いた職場の方に感謝いたします。

#### 2 参加した得たもの

発表した内容について先輩方のアドバイスが聞けたことが良かったと思います。まだまだ経験も知識も浅い私たちにとっては有意義な場になったのではないかと思います。また在学生・卒業生との交流も行える良い機会になりました。在学生や卒業生が集う空間を作ることで縦の繋がりのきっかけにもなったと思います。卒業してからは忙しく、なかなか大学へ足が遠のきがちですがこのような会があることで学生時代の思い出がよみがえり、まさに名の通りホームに帰ってきたという感覚になりました。それから他職種や他の職場の方とこのように情報交換することで知識を増やしより自分を成長させる場になると感じました。また在学生の方々に対しても今回のホームカミングデーが良い刺激となり触発されるのではないかと思います。

#### ③ 同窓生に一言

ホームカミングデーについて良く分からない方もいらっしゃるかと思いますが、アットホームな雰囲気で他学科や卒業生の方と交流できる場となっています。またそれぞれの特色を理解し視野を広くすることも可能ですし、思い出に浸りながらも初心を思い出すことも出来ます。同じ大学で様々な学科の学生が集まるのはあまりないことなので参加する価値はあるかと思いました。



吉井 あいさん (作業療法学科 2013年卒)



当日までは「どのような会なのだろう…」と緊張と不安の気持ちばかりが募ってい ました。参加してみると他学科の先生方や先輩方、同年に卒業した方、4年生など、幅 広く交流を図ることができ、緊張と不安は一気になくなりました。学ばせていただく ことが多く、刺激を沢山受け、最終的に「参加してよかった!」と本当に思いました。

#### 2 参加した得たもの

発表の場面では質疑応答、意見交換も活発だったため、参加者の多くの考えを聞 くことができました。現在病院勤務をしていますが、実際に勤務していても知らなか った他部門の専門性について知ることもでき、今後の臨床に活かすことのできる知 識を学ばせていただきました。また病院以外の医療・福祉、教育の分野の知識の幅 も広がりました。

卒業後、社会に出て一年目で、その現状を今回報告させていただきました。同学 年で卒業した方々の臨床や授業、営業などのそれぞれの専門職で日々葛藤している 話を聞き刺激を受けました。同窓生同士、切磋琢磨しお互いに高めあっていきまし ょう。これからも日々精進し臨床に励んでいきたいと思います。また、このような機会 に大学でお世話になった先生方や先輩、同期、後輩に成長した姿を報告できたらな と思いました。



# 八藤後 朋恵さん

(言語聴覚学科) 2013年卒



# 鲸肢装具自立支援学科 福祉用具課 ~業務内室

今回のホームカミングデーでは、発表者として参加させて頂きました。 まだ働いてから半年で、自分の仕事を人に上手く伝えられるか不安も ありましたが、良い雰囲気の中で発表できました。私自身、人前で発表す る機会も今まであまり無かったので、とても貴重な経験ができました。



#### 2 参加した得たもの

自分の職業のことを知ってもらうことだけでなく、他の職業、現場の意 見や情報を聞けたのはすごく良かったと思います。大学の時から勉強し てきた『他職種との連携』をはかるのにとても良い機会だと思います。ま た、同期生だけでなく、先輩方とも交流できるのもメリットだと思います。

#### (3) 同窓生に一言

ホームカミングデーは、自分の仕事を人に伝えられるだけでなく、他の

#### 早川修平さん √義肢装具自立支援学科 \ 2013年卒

同窓生との交流もあるので、自分自身の人間関係も広げることのできる 場だと感じました。他の同窓生、同期生の活躍も聞いていると、自分も もっともっと頑張らないといけないと感じ、奮い立たせてくれます。皆さん も1度参加してみてはいかがでしょうか。

#### 1 参加した感想

同級生、先輩、後輩、先生などたくさんの方と交流する 機会があり、有意義な時間でした。

最初は発表に対する不安がありましたが、参加してよ かったです。ただ、在学生の参加が少なかったのが残念 に思います。

#### 2 参加した得たもの

さまざまな分野で働く同級生や先輩との交流は仕事 へのモチベーションにつながります。また、質疑応答も 活発に行われ、貴重な意見から自分自身の仕事を振り 返るきつかけにもなりました。

#### 3 同窓生に一言

さまざまな職種の方の話を聞くことはとても貴重で す。ぜひ、みなさんも参加してみてください!



番場 美南さん 健康栄養学科



特集

#### 1 参加した感想

同窓生が集まり近況を報告し合うことで、同じ就職1年目で頑張っている同窓生の姿を見ることができ、私にとっていい励みになりました。また、非常勤講師として子ども達の教育に携わっている姿を在校生にも報告できたことは大変有意義に感じました。ぜひ、同窓生にはこれを機に、体に気をつけて目標に向けて挑戦し続けてほしいと思います。

#### 2 参加した得たもの

私は非常勤講師ではありますが、新しい環境での期待をもって保健体育教員の一歩を踏み出しましたが、これから上手くやっていけるかという不安も多く抱えていました。この会で近況を報告し合うことによって、「もっと自分もがんばろう」と、不安をこれからの期待に変えられるようないい刺激となりました。

#### 3 同窓生に一言

私は、この会のあとも新たな目標や課題がたくさん生まれています。来年度からは 埼玉県中学校教員となり、今以上に目標や課題に直面すると思います。どこかで同 窓生同士が集まったとき、笑って報告し合えるように、日々慢心することなく自分自身 勉強し続けたいと思います。



羽田 智紀さん (健康スポーツ学科) 2013年卒





#### 1 参加した感想

卒業後約半年が経って、自分の経験や成長を振り返る機会としてとてもいい発表会だったと思います。

卒業生と在校生の交流機会という面では、もう少し在校生の 参加があったら、さらに有意義なものになったのではないかと 感じました。



笹川 千明さん (看護学科2013年卒)

#### 2 参加した得たもの

先輩や先生方から助言をしていただくことで、学びを深めることのできる場であったと感じています。

同じ職場で働く他職種についてもより感心を持ち、他職種間の 連携の重要性について再認識することができました。

#### 3 同窓生に一言

私は学生時代も卒業後も仲間や先生方そして家族に沢山支えられてきたことを実感しています。日々勉学に追われ、辛いことも多いと思いますが周囲の人たちへの感謝を忘れずに頑張ってほしいと思います。

#### 1 参加した感想

仕事をしながらパワーポイントを作り原稿を作るの は正直大変でした。しかし作りながら自分の仕事がど んなものか改めて見直す機会にもなりました。また他 学科の発表を聞き私が働く場にも役立つような情報が 聞けて参加してよかったです。

#### 2 参加した得たもの

仕事について見直せること、情報収集ができること。

#### 3 同窓生に一言

卒業後に他学科の人に会って話を聴く機会はなかなかないので参加するだけでも勉強になります。発表の準備は大変ですが現在の自分を見直せるいい機会だと思ってやってみてもいいと思いました。



件鞭 千春さん (社会福祉学科 2013年卒







# 在学生4年生連携総合ゼミ

#### 【総合ゼミ感想】

- ●他学科の学生と模索しながら、対象者と家族への関わりを考えていくことが、貴重な体験になりました。できればまたやりたいです!
- ●1人とその方の家族に対して、様々な職種がどのようなアプローチを行うことができるのかを聞くことができ、 大変勉強になりました。お互いができることを把握することで、対象者の方のできることを広げられると感じました。
- ●他職種の役割を知ることができ、改めて自分の職種は患者さんに何ができるか再確認できる良い機会になった。また、他職種と協力することで自分のできる幅も広げられると知った。
- ●自らの専門性を確立し、他者に向けて発揮することの難しさとそれに伴う責任を感じました。しかし、他職種と協働する中で専門職が連携することでいかに利用者の支援の幅を広げ、生活の質の向上につながるのかを 実践的に学ぶことができました。
- ●疾患に対してや他職種連携についても深く学ぶ事ができました。また、自分の専門の存在意義について改めて見つめ直す事ができ、患者様に対して何ができるか考える良い機会となりました。
- ●実際の臨床現場で繰り広げられる様々な職種の情報交換がとても印象に残っています。その中で作業療法士が行うべきことは何か、他職種とどのような関わりを通して患者様へのアプローチを行うことができるかを学ぶことができました。臨床現場でも今回のゼミで学んだことを積極的に活かしていきたいと思います。
- ●疾患について改めて考える機会となり、いい経験となりました。

#### 【ホームカミングデーの感想】

- ●発表は緊張しましたが、私たちが伝えたかったことは伝わったと思います。簡潔にまとめて伝えることがいかに大事であるかを学ぶことができました。
- ●聞く方に対して、自分たちの行ってきたこと、伝えたいことを全て伝えることの難しさを感じました。しかし、対象者の方に対して、模擬ではありますが、まずスタッフからできないという考えを無くし、どうすればできるようになるのかを模索することを学ぶことができました。
- ●先輩方の仕事内容を詳しく知ることができ、自分の将来像の明確化に繋がった。ぜひ、高校生に見てもらい各職種がどのような仕事をするのか参考にして欲しい。















発表が終わり座談会ということで和気あいあいといきたかったのですが、話は人生の先輩からのありがた一いアドバイスが多くなってしまいました。しかし在学生も含め真剣に話を聞いてくれて、最後にはこれからの同窓会について等、非常に前向きな話が出てきたりして、参加した人たちからは「もっとこんな機会が増えたらいいのに」という意見が聞こえてきました。学友会副会長からの提案もあったりしてこれからの同窓会のスタイルが少しずつ出来てきているなとも感じました。やはり、連携教育を主においている大学だけにお互いに協力して物事を進めていくことに慣れているなと思いました。参加していただいた皆さんこれからも座談会のように屈託のない話ができる、協力していける同窓会でいましょう。ありがとうございました。

# 参加者の感想

- ●総合ゼミの時間を多くもって、実際の現場からの意見をもっと伝えるべきだった。また、ゼミのそれぞれの立場からの意見も聞きたかった。
- ●是非今回のような会は続けられたらいいなと個人的に思います。集客、発表者の選出できるだけ発表者の負担にならないよう準備期間を提示したり、内容についてもある程度絞ったほうがよいのかなと思いました。
- ●チーム医療が叫ばれている中で、他職種の発表を聞くことは、自分自身のスキルアップにも繋がると感じました。他職種間での意見交換会のような時間があってもいいのかなとも思いました。仕事は理解できても、気持ちまでは中々聞く機会がないと思うので。
- 様々な職種が職場の業務内容を発表し、どんなことを行っているかと言う点を 聞き、改めて他職種の理解が深まり良かったです。それと同時に9期生に会え て良かったです。しかし働きながらのスライド作りはなかなか大変でした。
- ●卒業してからどんな仕事を他の人がしているのかわかり、みんな頑張ってるから自分ももっと頑張らなくちゃと奮い立たされました。ぜひ他の人にも参加してもらいたいと思いました。

以上の意見をいただきました。これらを参考によりよいホームカミングデーが出来るように同窓会役員一 同取り組んでまいります。少しでも興味のある方がいましたらいつでも同窓会支援室までご連絡ください。



10th anniversary

# 新潟医療福祉大学同窓会設立10周年記念式典

# ~NUHWが目指す未来~

同窓会創立10周年と、医療・福祉の連携をより充実させることを目指して開学された新潟医療福祉大学の軌跡を振り返るとともに、大学が目指す今後の未来について卒業生を交えて楽しい一時を過ごしたいと思います。多くの方々からのご参加をお待ちしておりますので、ぜひ同窓生同士声を掛け合いご参加ください。ご家族での参加も大丈夫です。また、宿泊の希望がありましたら同窓会支援室までご相談頂きますようお願いいたします。

まだまだ企画途中でありますので、ご意見・ご要望がございましたら同窓会支援室までご連絡ください。

日時 平成26年10月25日(土) 18:00~(予定)

場所 チサンホテル&コンファレンスセンター新潟 越後

#### プログラムー

第一部 ●シンポジウム 各学科長より今後の連携医療への展望

第二部 ●懇親会

大学の変遷 DVD、写真等で紹介 記念撮影 全体及び各学科でと

※プログラムの内容は変更する場合があります。詳細は追ってお知らせ致します。













本誌のタイトルは本学を象徴する語句である「伍桃(ごとう)」です。伍桃の由来、意味をご存じですか? 本学開設当時、「伍」は開設五学科、「桃」はピンクの校舎を表しました。「伍」には人と人とのつながり

(連携)、「桃」には健康・長寿、愛情・やさしさ・ 温かい心の意味があります。学科が増えた 現在、「伍」には「優れたQOLサポーターに なるための5つの要件(STEPS)を、「桃」には 「温かい心の通った大学」を当てはめまし た。そこで現在の「伍桃」は「優れたQOLサ ポーターを目指す仲間が集い、温かい心の 通う大学」を表すことにしています。



No.10春 2014.3

# 新潟医療福祉大学同窓会

作業療法学科言語聴覚学科

# OT·ST連携研修会開催決定

同窓会では昨年に引き続き、同窓生の交流と卒後教育の場を充実する目的で 右記の研修会を開催することとなりました。今回は作業療法学科及び言語聴覚 学科の同窓生を中心に企画を進めてまいります。昨年のPT・HN連携研修会にお いて、前半の連携実践発表では他職種との連携実践を聞くことで、新しい気付き を得ることができました。さらに後半の学科ごとの分科会では、専門職種を掘り 下げ、現場でのそれぞれの悩みなどを解消することができました。今年も学びの 多い機会となることを役員一同期待しております。

で多用中の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、で参加くださいますよう重ねてお願い申し上げます。同窓会役員一同心よりお待ちしております。(参加お申し込み方法は別途で案内致します)

また、「こんなことをしてほしい」、「私の学科でもやってほしい」などで意見・ご要望がありましたら、同窓会支援室までぜひご連絡ください。







#### **甲時 平成26年6月28日(土) 14:00~19:30**(予定)

#### 金場 新宿ワシントンホテル

- 1. 全体会 ◆連携発表
- 2. 分科会
  - ◆OT分科会
  - ◆ST分科会
- 3. 懇親会



# 国家試験出陣式

# 合格祈願鉛筆贈呈

国家試験を受験する在学生の皆さんへ毎年同窓会より合格祈願鉛筆を贈呈しています。今年は健康スポーツ学科と医療情報管理学科にも目標が叶うように「大願成就祈願鉛筆」を贈呈いたします。国家試験を受験する方は合格を目指して、社会にでて頑張る方には夢や目標が叶うように同窓生からの願いが込められています。写真は社会福祉学科の激励会、看護学科の結団式の様子です。それぞれの学科の特色が出た素晴らしい会でした。皆さんそれぞれの目標に向かって頑張ってください。



今年の言葉は 「夢の入口まであと一歩。自分を信じて!」 「大きく深呼吸、君ならできる。今までの努力は必ず実る」 「GOOD LUCK」の3つです。













# **Tool of Professional**

仕事で使う道具(Tool)についてピックアップするこのコーナー 第3回目はオリンピック選手が使用している施設で働く三富さんの Toolを紹介します。

国立スポーツ科学センター メディカルセンター アスリートリハビリテーション 理学療法士

三富 場輔さん (理学療法学科2008年年)



耐久性に優れており、水中でも粘着性・ 機能性が保てるテービングです。 【用涂】

水泳選手等の水中での競技者に対して、筋・関節サポート・アライメント修正等を目的に使用することが多いです。

#### ソフトジムボール

エアーによりボールの硬さを調節し、用 途によって使い分けをします。 【用涂】

理想的な筋収縮や姿勢を作るために、リ ハビリテーションや筋力・バランスエクサ サイズ等に使用します。



#### □ 用具への思い入れ

水泳競技の現場やリハビリテーションの現場で使用されていることが多く、 私もリハビリテーションやコンティショニング、障害予防のために必要に応じて 使用しています。また、現在では多くの選手が一人一つ所持しており、障害予防 のためのエクササイズ等に使用していることもあります。

#### □ 勤務先の紹介

国立スポーツ科学センター(JISS)メディカルセンターに勤務してアスリートのリハビリテーションを担当しています。JISSは(公財)日本オリンピック委員会(JOC)・競技団体・大学・国内外のスポーツ研究機関と連携し、日本の国際競技力向上への支援を行っています。

#### □ 同窓生へのメッセージ

お互いに仕事が忙しく頻繁に連絡をとることは難しいですが、このような同窓会誌に掲載していただけることで、互いの活躍を知ることができ嬉しく思います。今後も、お互いに頑張っていきましょう!

#### 三富さんの仕事の流れ



スポーツクリニックにて ドクターの診断後、指示 のもとアスレティック・リ ハビリテーションの開始 **(2** 

選手の状態・症状等の 評価のもと、プログラムを作成



アスレティック・リハビリ テーション、コンディ ションプラグラムの実施



再評価、回復状況等の確認や、他部門のスタッフとのミーティング



選手が現場や競技に 復帰。復帰後、場合に よっては障害予防プロ グラムの実施

# No.10春

# 先輩訪問



# 永寿総合病院

大田 祐加さん(作業療法学科2013年卒)

INTERVIEWER

笠原 由里奈さん (作業療法学科3年)

この度、私は永寿総合病院に勤務されている9期生の大田祐加先輩を訪問しました。永寿総合病院はJR上野駅に近接しており、台東区の中核病院としての役割を担う総合病院です。大田先輩は、脳血管疾患や運動器疾患、呼吸器疾患、廃用症候群など様々な疾患の



患者さんを担当しておられます。訪問して最初に、この病院への就職の動機を伺いました。先輩は、『緩和ケアや呼吸器リハビリテーションが活発に行われていること』を挙げられ、もう一つ重要だったことは『職場の雰囲気』とおっしゃっていました。病院見学時に感じたスタッフの方々の温かさや雰囲気に魅力を感じたそうです。

この1年を振り返ると、「毎日必死で過ごした。先輩にもたくさん相談に乗ってもらったから乗り越えられた」とおっしゃっていました。また「自分が知識不足なままでは患者さんに対して十分な作業療法は提供できない」と、資料や文献を探し、通勤時間にそれらを読んで知識をつけることを最優先に考え、取り組んでおられるそうです。

大田先輩は患者さんの立場に立つことが、作業療法士として最も大事なことだと考えておられます。「自分が自分の家族を大切に思うように、患者さんにも家族がいて、患者さんは誰かの大切な人だと思う。受傷や疾患の発症などにより、人生のどん底にいる気持ちになっている患者さんは多い。だから、そのような患者さんにとって、自分がホッとできる存在になりたい」とおっしゃっていました。

インタビュー前は緊張していたのですが、先輩が優しく温かく迎えて下さったので、

すぐに緊張がほぐれ、お話しすることが出来ました。先輩の持っている温かい雰囲気 や作業療法士としての誠実な心構えおよび行動が患者さんやスタッフの方々からの 信頼に繋がっているのだと感じました。

在校生へのアドバイスとして「勉強やサークル、バイト、地域での活動などのすべてが人間性を磨くことに繋がると思います。学生時代にしかできないことがあるので、たくさん経験してください。また、実際に就職すると他職種の方との関わりが多くなります。新潟医療福祉大学には他職種の学科と関われる授業が多く組み込まれているので、積極的に取り組んでみてください」というメッセージを頂きました。

最後になりましたが、日々の業務でお忙しい中、快くインタビューを受けてくださった大田先輩および永寿総合病院の皆様に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。







第31回全日本大学女子駅伝競走 本学駅伝チーム 応援してきました!

に訪問してくれて抱負を語ってくれました。同窓会からは飲み物の差入れを贈呈しました。 大会当日スタート地点の仙台市陸上競技場の隣には東北楽天のホームスタジアム「K スタ宮城(現コボスタ宮城)」があり、日本シリーズの熱気が伝わってきました。

応援隊はまず1区、2区、3区の選手を応援し、電車で移動。5区、6区の選手を応援してきました。陸上部のOGも応援に来ていたり、本学の先生方も多数応援に駆けつけていました。同窓会ではこのような学生支援(応援)は初めての事でしたが、大学・同窓会が一体となれるコンテンツではないかと思いました。これからも在校生がいろいろなところで活躍することを願っています。選手の皆さん本当にお疲れ様でした。応援に来ていた皆さんもお疲れ様でした。

また、今回の応援で同窓会よりのぼりの寄贈をおこないました。かなり目立つのぼりですので、同窓生の方で使いたいという方がいましたら同窓会支援室までご連絡ください。ご相談させていただきます。

同窓会ではこのような企画を応援したいと考えておりますので企画・ご意見ありましたら同窓会支援室までご連絡ください。



私は入学してからの目標であった、全日本女子駅伝出場を学生最後の年に達成することができました。この陸上部でチームの一員として仙台の街を走れる時が来るとは、入学当時には思いもしませんでした。私は有名な選手ではありませんでしたが、陸上を好きな気持ちがあるからこそ周りに負けじと前進してこれました。この駅伝では、今までの陸上人生の全てを込めて挑んだことを今でも思い出します。このチームのメンバーには心から感謝し、監督、コーチ、家族、周りのサポーター達、全ての人達のおかげで仙台の街を走ることが出来ました。私が学んだことは、感謝の気持ちと諦めない心です。この駅伝をきっかけに後輩や多くの人に刺激を与え、どんどんと夢を目標に変え、前進して欲しいと願います。

#### 柴澤 真南美さん(健康スポーツ学科2012年卒)

私が大学4年生の時、大学入学時から目標としていた全国大学女子駅伝の出場を果たしました。 大学にとっても初出場ということで新潟医療福祉大学の新たな歴史の一歩を踏み出しました。出場 するまでには、チームをつくることすらできなかった年もありましたが、私が最終学年となった時専 属のコーチと選手が揃い、個人個人のレベルアップで全国行きの切符を掴むことができました。全 国駅伝の結果は最下位と、全国の壁の高さを感じると共に、「もっと他大学と競い合うレースをした かった、滑を繋ぎたかった」と悔しい思いをしたことを覚えています。しかし何より、大切に思える仲 間と駅伝の楽しさ、感動、また難しさを味わえたこと、辛いと感じるときも仲間と支え合ってきた 日々が大切な思い出として残っています。

後輩達には応援してくださる方々への感謝の気持ちと、共に走り同じ目標に向かう仲間がいることのありがたさを忘れず、新潟医療福祉大学の駅伝の歴史を築いていってもらいたいと思います。



# 同窓生は今

# 義肢装具士として働く

#### Q1:新潟医療福祉大学在学中に、どちらの学部・学科に所属していましたか?

医療技術学部義肢装具自立支援学科

#### Q2:学生時代の思い出。特に印象的だったことは何ですか?

4年生時の臨床実習です。東京にある小さな義時装具製作会社に1か月間お世話になりまし た。お世話になったスーパーバイザーは、私が今まで出会った人の中で、最も厳しく、優しい方で した。あの1か月間で感じたこと、学んだこと、体験したことを忘れたくありません。実習中にとっ たノートと、バイザーが毎日コメントを書いてくれた実習日誌は私の宝物です。

#### Q3:勤務先について紹介してください。

加藤義肢製作所、新潟市内にある小さな義肢装具製作会社です。義肢装具の採型、製作、適 合、納品まですべて一人で行い、義肢装具の製作、修理、インソールの販売などを行っています。 加藤義肢では、装具よりも義肢の割合が多いため、様々な種類の義肢に携わることができます。

#### Q4:現在携わっていらっしゃるお仕事について具体的に教えてください。

週に一度、病院へ出向き義肢や装具の採寸、採型、修理などを行っています。医師の処方に基 づいて製作を行い、納品をした後は、その義肢装具がユーザーさんにとって適切かどうかを理学 療法士や作業療法士などの専門職の方々と評価を行います。そのため、豊富で確かな知識が求 められます。

会社では、ユーザーさんの義足や義手の作り替え、製作の補助をさせてもらっています。ユー ザーさんが日常的に、かつ長い期間使うものなので、正確で繊細な技術が必要になります。

#### 加藤義肢製作所 勤務



社会にでると、学生時代以上に学ぶべきこと、覚えるべきことが多く大変なこともあります。で すが日々の仕事を通し、それ以上の喜び、やりがいを感じられることが多いと感じます。

#### Q5:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか?

学生時代に友人たちと勉強した知識は、病院で他の専門職の方々とお話するときにとても役 立っています。解剖学、神経学、運動学、障がい評価学などの基礎科目を理解していなければ、 ユーザーさんがどのような状態で、何が必要かがみえてきません。また義肢装具学などの専門科目 は広く、深く理解していないとユーザーさんのQOL向上にはつなげられません。

今思えば、自分たちの専門科目だけでなく、他の学科の専門科目をもっと勉強しておくべきだっ たと感じています。

#### Q6:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

素直、正直に、そして誠実に!

#### Q7:今後の夢や目標を教えてください。

社長の技術を受け継ぐことです。そして、誰かに必要とされる義肢装具士になりたいです。

#### Q8:最後に、同窓生やこれから社会に羽ばたく在校生にメッセージをお願いします。

人との出会い、会話、そして日々の出来事、たとえ今の自分にとって厳しく、辛い経験でも、自分 自身を成長させ、自分という人間を少しずつ形作っていくものだとおもいっています。

人との縁、物事との縁を大切にしてください。

## 同『窓『生』は『今

# 「施設職員」ではなく「地域住民」として地域に近い場所に。

社会福祉法人 十日町福祉会 複合型介護施設三好園四ツ宮 勤

庭野 貴代さん(社会福祉学科2013年卒)



Q1:新潟医療福祉大学在学中に、どちらの学部・学科に所属していましたか?

社会福祉学部社会福祉学科(介護福祉コース)です。

#### Q2:学生時代の思い出。特に印象的だったことは何ですか?

介護福祉コースの学生同士での飲み会とボランティアスタッフとして新潟国体に参加できたこ とです。

#### Q3:勤務先について紹介してください。

勤務先は複合型介護施設です。市の中心部にあり、地域との交流の機会が多い施設です。

#### Q4:現在携わっていらっしゃるお仕事について具体的に教えてください。

小規模多機能の介護職員をしています。短期入所生活介護、通所介護、訪問介護の三つのこと を行っています。

#### Q5:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか?

大きく影響しています。

#### Q6:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

「施設職員」としてではなく「地域住民」として仕事に携わり、地域と関わっていけるように心掛

#### Q7:今後の夢や目標を教えてください。

介護支援専門員を目指して勉強していきたいと考えています。

Q8:最後に、同窓生やこれから社会に羽ばたく在校生にメッセージをお願いします。 お互い、無理せずに頑張りましょう。



# 同窓生は今

# ひとりひとりのBiopsychosocialistとして

#### 秀匠会 わしざわ整形外科 勤務



Q1:新潟医療福祉大学在学中に、どちらの学部・学科に所属していましたか? 医療技術学部理学療法学科

#### Q2:学生時代の思い出。特に印象的だったことは何ですか?

理学療法学科およそ100名中90名が集結して飲み会やカラオケを楽しんだことです。私たち6期生はとても結束 力がありました。今だからお話できますが、セミナー室のTVをスクリーンに繋ぎ、world baseball classicや冬季五 輪などを観戦、応援したことは本当にエキサイティングでした…。

#### Q3:勤務先について紹介してください。

東京都足立区にある当院は、多くの住宅や学校に囲まれ、地域の方々においては非常にアクセスの良い身近なク リニックとしてご利用していただいております。また、2013年度には板橋区に分院が開院され、今後さらに広域に 渡って当院の医療サービスをご提供することが可能になると思います。

実際の診療では、画像検査や血液学的検査、生化学的検査といった医学所見も然ることながら、当院理事長の信 念上、そうした所見にプラスアルファ、ベータ、ガンマ…、の数々の理学所見が併存した結果、痛みが惹起されている とされ、我々理学療法士の機能診断や治療が重要視されております。

#### Q4:現在携わっていらっしゃるお仕事について具体的に教えてください。

外来リハビリテーションを専門としております。痛みを主訴として受診される患者様が多数ですし、それを解決し、 日常生活や職業レベルを再獲得、向上していただけるよう努めています。また、年に一度ではありますが、少年野球 選手のメディカルチェックも行っております。やはり選手の保護者の皆様にとって、我が子の健康は願ってやまないも のです。身体コンデションのチェックと対処方法をご提案させていただいたことで、保護者の皆様からは「安心」との お言葉がありました。

#### Q5:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか?

とても大きいと思います。まず私は大学時代にVICON部に所属していましたが、現在の動作分析能力の礎を築いて くれた最高の経験であったと感じていますし、深夜まで及んだ同期の仲間との動作解析セミナーは、本当に多くのディ スカッションの機会を得られ、現在の症例検討会などの場で積極的に発言できる有益な経験となったと思います

また、理学療法学科には多様な分野にそれぞれ精通されておられる教師の方々がいらっしゃるため、将来的に自分 が進みたい分野に対する展望が開きやすいと感じました。これは、その他大学を卒業された先生方に新潟医療福祉 大学の羨ましいところだとお褒めの言葉をいただいたこともあります。

#### Q6:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

『理学』とは一体どういった意味をもつのか調べたことがあります。現在は哲学と翻訳されるphilosophyが日本に 伝来されたとき、理を究明・講義する学として理学と本来は翻訳されるべきであったそうです。その他にも自然現象を 理解し、ものの道理を見極めることが目的である、自然科学の諸分野の総称などと綴られており、感銘を受けたことを 覚えています。おおよそ30年も前の医学論文ですが、かつての医学では骨が折れた、軟骨が傷ついた、靭帯がきれ

た、などの主に器質的な原因を取り上げてアプローチされていたようです。しかし、現在、こ うした単一の要素のみでは患者様の痛みを説明しきれないことは広く認識されています。 生物学的、心理学的、社会学的要因を複合し、それらを同等に扱い対処することが重要視さ れている現在、とある著明な理学療法士が自らのことを『Biopsychosocialist』と呼びまし た。私もまた、未熟ではありますが、痛みに関与する多次元的、複合的な問題の理を究明し 続け、患者様個別の対応をできるよう心掛けているところです。

#### Q7:今後の夢や目標を教えてください。

本音を申し上げますと、未だ悩んでいます。これからの理学療法情勢を見据えながら、私 の地元新潟に貢献できるのにはどうすればよいのか、考えているところです。

今はとにかく霧がかった道ではありますが、一歩ずつ成長していきたいと思っています し、今の職場の発展に注力していきたいと考えています。

Q8:最後に、同窓生やこれから社会に羽ばたく在校生にメッセージをお願いします。 僕は僕なりに頑張ります!

# No.10春。

# 同窓生は今

## 今できること、今しかできないことを探して

Q1:新潟医療福祉大学在学中に、どちらの学部・学科に所属していましたか?

健康科学部 健康スポーツ学科

Q2:学生時代の思い出。特に印象的だったことは何ですか?

野外活動とスキー実習

Q3:勤務先について紹介してください。

·新潟県立新発田農業高等学校 非常勤講師(保健体育)

→大学の授業と両立しながら、週に4回通っています。

Q4:現在携わっていらっしゃるお仕事(活動)について具体的に教えてください。

・新潟医療福祉大学強化ダンス部 部長

→創部1年目ですが、部長としての意識を持ち練習に励んでいます。

·新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 健康科学専攻

Q5:大学での経験は、現在のお仕事(活動)にどのように影響していますか?

部活動も非常勤講師も、スポーツを通して人と向き合う仕事(活動)です。在学時に学んだ運動 理論や実技授業、教職科目の授業はもちろんのこと、サークルや連携ゼミ、コアカリキュラムなどを 通して、様々な分野の人とのコミュニケーション経験が、人と向き合う場面で活かされていると思 います。

Q6:仕事(活動)に対するご自身のモットーを教えてください。 好奇心旺盛に挑む

#### 新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 健康科学専攻 進学

吉崎 慈保さん(健康スポーツ学科2013年卒)

#### Q7:今後の夢や目標を教えてください。

ダンスを通して表現する楽しさや、スポーツの素晴らしさを伝えられる指導者になりたいです。 Q8:最後に、同窓生やこれから社会に羽ばたく在校生にメッセージをお願いします。

同窓生の皆さんも在校生の皆さんも、今できること、今しかできないことをみつけ、全力で過ご 1.ま1.よう!!

Q9:その他に情報発信したいことなどございましたら、なんでも結構です。

定期的にダンス部で発表会を行っているので、是非観に来てください!



# 同窓生は今

## 健康を支えるわたしたち

Q1:新潟医療福祉大学在学中に、どちらの学部・学科に所属していましたか? 健康科学部看護学科に所属していました。

Q2:学生時代の思い出。特に印象的だったことは何ですか?

一言でいうと「出会い」です。一生の仲間や恩師と出会い、同じ夢に向かって一緒に頑張りました。 Q3:勤務先について紹介してください。

栃木県宇都宮市立西小学校で養護教諭をしています。

Q4:現在携わっていらっしゃるお仕事について具体的に教えてください。

「保健室の先生」として怪我をした生徒の手当をしたり、教室に入れないでいる子と向き合ったりしています。他にも、健康診断の運営を行ったり、学級活動や保健学習の授業をしたり、校外学習に引率したりしています。保護者や地域の方と関わり、一緒に子どもの健康について考えることもあります。

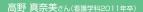
Q5:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか?

私は総合ゼミに参加して、「他の専門職と関わること」を学びました。他の専門職の特徴を知って 関わることは、他の方にどんなところをどんなふうに頼っていいのか、私には何が求められていて 何ができるのかが理解でき、子どもたちや保護者のケアに繋がっていくと思います。学校現場でも たくさん通じるところがあると思います。

Q6:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

養護教諭は人が生きていくうえで基盤となる健康を支える重要な仕事であることをいつも念頭

#### 栃木県宇都宮市立西小学校 勤務





Q7:今後の夢や目標を教えてください。 養護教諭や看護師のように人と関わる仕事には終わりが見えません。まずは自分が楽しんで、

養護教諭や看護師のように人と関わる仕事には終わりか見えません。ますは自分か余しんで、 そして、子どもたちに対する愛情と養護教諭である誇りと情熱を持ち続けていきたいと強く思います。

Q8:最後に、同窓生やこれから社会に羽ばたく在校生にメッセージをお願いします。

に置いています。子どもたちとともに私自身も成長していきたいと思っています。

私は時々、大学のアルバムを見返して大学生活の思い出に浸っています。また、大学の時のようにみんなに会いたいなと思います。

大学生活は長い人生の中でほんの短い期間です。夢を叶えるために勉強も大切ですが、とにかく仲間との時間を大切に、たくさん遊んで、今しかできな

いことにたくさんチャレンジしてください。

Q9:その他に情報発信したいことなどございましたら、 なんでも結構です。

養護教諭になるのは簡単ではありません。自分も大変 な思いをした分、少しでも在学生のみなさんの力になり たいと思っています。

ぜひ諦めずに養護教諭を目指してください!



# 同窓生は今

# 体を動かす楽しさを伝えていきたい

Q1:新潟医療福祉大学在学中に、どちらの学部・学科に所属していましたか?

医療技術学部健康スポーツ学科に所属していました。

Q2:学生時代の思い出。特に印象的だったことは何ですか?

教育実習です。人に何かを伝える、教えることがこんなにも難しいことかと痛感しました。本当 に貴重な経験でした。

Q3:勤務先について紹介してください。

新潟市にある「特定非営利活動法人総合型地域スポーツクラブハビスカとよさか」に動務しています。新潟市豊栄総合体育館などのスポーツ施設の管理運営やスポーツクラブの運営を行っています。

Q4:現在携わっていらっしゃるお仕事について具体的に教えてください。

施設の維持管理業務から運動指導・スポーツイベントの運営など、さまざまな業務に携わっています。施設管理では、施設・備品の修繕や維持管理など利用者が安全で快適な運動を実施できるように心掛けています。運動指導では、高齢者から小学生まで様々な年齢層の運動指導に従事しています。また、地域に出向いての運動指導なども行っています。

Q5:大学での経験は、現在のお仕事に影響を及ぼしていますか?

とても影響していると思います。今の仕事の基礎となっているものもたくさんあるので、もう一度 受けたい講義がたくさんあります。

#### 特定非営利活動法人総合型地域スポーツクラブハピスカとよさか 勤務

阿部 弘典さん(健康スポーツ学科2009年卒)



変化を恐れないことです。「昨年と同様に…」ではなく、より良いものができるように良いと思ったらどんどん提案して、より質の高いものを提供できるように努めています。

個人としても、常に向上心を持って新しいものを取り入れるように心掛けています。

Q7:今後の夢や目標を教えてください。

地域のスポーツクラブなので、新潟市北区の健康増 進にどんどん関わっていきたいです。また、将来的には 北区だけではなく、県内の総合型クラブが活性化する ような活動にも関わっていければと考えています。

#### Q8:最後に、同窓生やこれから社会に羽ばたく

在校生にメッセージをお願いします。

在学生の皆さん、やってみたいと感じた気持ちを大 切に何事にもチャレンジしていってください。学生の時 にしかできないことが、たくさんありますよ!

同窓生の皆さん、なかなか会う機会もないですが、皆 さんのがんばっている話を聞きたいです。





学科近況

# 学科近況

# 理学療法学科



理学療法学科 教授 小林 量作

卒業生の皆さん、元気にご活躍のことと思います。時々、大学時代のことを思い出すことがありますか。それではこの1年間を振りかえってみましょう。

教員は4月から教授奈良貴史先生(解剖学)、助手斎藤慧先生が赴任し、計21名となりました。学部生は13期生104名が入学しました。大学院生は7名が修士課程に入学し、この内学部から3名の進学です。学部からの進学が普通になってきました。また修士2年生の10名を加えると理学療法分野も大所帯になりました。海外研修は昨年度末に米国・カリフォルニア州立大学フレズノ校(久保先生、高橋先生)、フィリピン・アンヘルス大学(古西先生)、9月から椿先生がドイツに短期留学に行ってきました。4年生の総合OSCE、3年生の評価OSCEも年々充実し全PT教員が参加して行われます。4年生は臨床実習、卒業研究発表、就職活動をこなし、最後の国家試験対策中です。国試合格率は昨年に引き続き100%を目指します。理学療法学科ホームページもご覧ください。





# 作業療法学科



作業療法学科 助教 泉 良太

卒業生の皆様、如何お過ごしでしょうか。元気に作業療法していますかー! さて、昨年は2名の教員の異動がありました。4月には新任教員として外川佑先生

(写真後列1番左)が就任されました。専門は「自動車運転に関する評価や支援」であり、今の時代に欠かすことのできない分野であると思います。また、7月には鈴木誠先生(写真前列中央)が本学を退職され、関東の大学に就任されました。癒し系の鈴木先生が異動されたことは"誠"に残念ですが、次の職場でも輝いていただくことを願っております。

最近の学生の現状(1月現在)としましては、4年生は卒業研究発表会が終了し、国家試験に向けて猛勉強中です。3年生は総合臨床実習に向けて、実技練習はもちろんのこと?後期定期試験に挑むところです。2年生、1年生は未来の実習に向けての知識・技術を日々、修得中です。

是非、卒業生の皆様も学生時代 を思い起こすとともに、これから、作業 療法士を目指す学生への温かいご 指導をよろしくお願い致します。





# 言語聴覚学科



言語聴覚学科 講師 渡辺 時生

卒業生の皆様、お元気でしょうか。本学科では昨年4月より山岸達弥先生が新学科長に就任されました。また、講師の内山信先生と石本豪先生、助手の平沢絵里奈先生をお迎えして1年が経過するところです。

昨年10月に本学で開催された新潟医療福祉学会において、上述の卒後一年目の平沢先生が口演発表を行い、奨励賞を受賞されました。大変栄誉あることであり、学科教員一同、とても嬉しく感じております。今後も卒業生の参加・発表を大いに期待しております。

さて、第15回日本言語聴覚学会が6月28(土)、29(日)に大宮ソニックシティ(さいたま市大宮区)で開催されます。テーマは「言語聴覚士とはなにか〜あるべき姿を再考する」です。5月16日までに学会ホームページで事前登録を行うと参加費が安くなります。学会初日夜に懇親会(事前登録必要)もあります。ぜひ、学会発表や懇親会などで卒業生・教員との旧交を温めましょう!皆様と再会できますことを楽しみにしております。





# 義肢装具自立支援学科



義肢装具自立支援学科 教授 真柄 彰

卒業生の皆さん、お元気ですか?整形外科の真柄です。私も当学勤務9年です。 近況をお伝えします。本年3月に、42名の4期生が卒業し、4月に8期生48人が入学 されました。教員は飯塚先生が悲しいことにご退職になられた以外は変わりありませ ん。今年の学生海外研修は米国チームがフロリダへ、真柄を含むチームが台湾へま いりました。台湾では当学科大学院生の劉さん、張さんと頼さんらがこころよく迎えてく ださり研修のあいまに故宮博物院へも案内していただきました。来年度大学院に入 学予定の蔡さんも一緒に行動しました。彼女は台湾ではPTですが、当学で義肢装具 の勉強をした後、劉さんと一緒に活動する計画だそうです。現在、L棟にはアフリカの トーゴから大学院での勉強に来ているアヘーゴさんもおられるので、国際色ゆたかで す。皆さんもお仕事も忙しいとは思いますが、研究や、勉強もさらにつづけて頂きたいと 願っております。頑張ってください。





# No.10春。

# 健康栄養学科



健康栄養学科 助教 小林 奈穂

卒業生の皆さん、お元気ですか?皆さんのご活躍を多方面から伺い、いつも嬉しく思っております。さて、今回は本学就任13年目!の小林が、学科の近況を報告させて頂きます。

本年度は課外活動の充実した1年となりました。セブンイレブンとの共同開発第5 弾となる「野菜肉巻き弁当」の販売、越後茶屋全3店舗による「健菜御膳」第4弾の 販売、今年度で2年目となる耕作放棄地解消を目的とした北区農業委員会との共同 での「シルクスイート(サツマイモ)栽培」、そして北区産シルクスイートを利用した地元 洋菓子店との連携による「スイーツの商品化」など、いずれも学生が主体的に活動を 行いました。

特にサツマイモ事業については、地域や社会に向けて事業の紹介を学生自身が発表する機会も多く頂き、また多数の販売イベントへの参加も行うことができました。そして、来年度5月下旬~6月上旬に開催される「2014『大学は美味しい!!』フェアin新宿高島屋」への参加が決まりました。これはイベント事務局側からの高い評価と、学生の強い要望により実現した"念願の参加"です。卒業生の皆様も是非足を運んで、現役学生の頑張りを見守ってあげてください!!





# 健康スポーツ学科



健康スポーツ学科 講師 池田 祐介

卒業生のみなさん、はじめまして。今年度より着任しました池田祐介と申します。健康スポーツ学科では学生、教員数の増加に伴い、昨年の3月に研究および教育のための実習環境を備えた第7研究棟・実習棟(0棟)が建設され、スポーツや健康について様々な側面から実践的に学ぶ環境が整いつつあります。

クラブ活動では今年度から硬式野球部、女子バレーボール部、ダンス部が強化指定クラブとなり、全国レベルの大会で各部が健闘しています。水泳部は昨年の日本選手権で2名が入賞し、陸上部は日本陸上競技選手権リレー競技大会において新潟県新記録で7位入賞を果たしました。

以上が、健スポッの近況ですが、大学での教育やクラブ活動の更なる充実のためには卒業生の応援が大きな力になりますので、今後とも母校を温かく見守って頂ければと思います。そして、新潟医療福祉大学の学生が世界の舞台で活躍する姿を楽しみに待っていてください。





# 看護学科



#### 看護学科 准教授 石原 美由紀

卒業生の皆さん、お元気ですか?皆さんがご活躍されている現場は、医療機関は勿論のこと、健診機関や地域の行政機関、教育機関と幅広い分野に渡っています。今回は、学科の中では少数派ではありますが、教育機関で活躍することを目指している養護教諭コースの近況をお知らせいたします。

新任者の全国平均年齢が28歳といわれ、教員採用試験という難関を突破することが大変な養護教諭ですが、今年度、学科初の現役合格者が出ました。合格した4年生は自分なりの養護観を持ち、子どもたちに寄り添う養護教諭を目指しています。一方、卒業生の皆さんの中からも、昨年度、教員採用試験に合格し養護教諭となった

人がいます。卒業後の合格ではありましたが学科初の合格者第1号でした。さらに今年度も卒業生から合格者が出ました。また、現在も合格を目指して養護助教諭として仕事と採用試験勉強を両立させて頑張っている卒業生達もいます。

養護教諭コースは看護と教職の両立 というとても大きなハードルがあり、自主、 自立の精神のもとで自分からつかみ取る 姿勢なくしては成し得ませんが、粘り強く 信念を持って頑張った分だけその対価は 大きいと思えてなりません。以上、養護教 諭コースからの報告でした。





# 社会福祉学科



社会福祉学科 准教授 渡邉 敏文

卒業生の皆様、元気でご活躍のことと存じます。新潟医療福祉大学では、平成24年度から新潟水俣病の患者の皆さまが、日々、健康で生き生きとした生活を送っていただけるよう「介護予防等在宅支援に関する研究一新潟水俣病患者・支援者用複合型プログラム作成に向けて一」(新潟市委託研究事業)に取り組んでいます。それに関する事業として、新潟市全市を対象とした「健康教室」を、平成25年9月から11月にかけて3回にわたり阿賀野市の出湯温泉で実施しました。健康教室では、社会福祉学科の学生が新潟水俣病患者の方々にレクリエーションや足浴(足湯)を行いました。レクリエーションは、学生自身が考案したオリジナルなもので、楽しみながら運動することができます。また、足浴は、足をお湯に浸けマッサージをすることや話をすることでくつろいでいただこうというものです。これらの活動は、患者さん同士の交流を促進することに繋がっています。また、学生にとってはこれらの活動をとおして様々なことを学ぶことができ、専門職としての力量を培うことに結びついています。





学科近況

# 医療情報管理学科

#### 医療経営管理学部長 / 医療情報管理学科長 / 教授 福島 正巳



完成年度を迎え、第一期生を送りだすこととなりました。第一期生を迎え入れた入 学式が昨日の事のようです。1年生から4年生まで在籍し学科として完成致しました。

4年生は、最後の卒業研究に邁進しています。就職についても主体的に取り組ん だ結果が残せたといえます。100%を目指してフォローを継続しています。

3年生は、資格試験への取り組み、就職活動の開始、課題が多い学年ですが、よく 頑張っています。自分自身が目指す進路に向けた資格取得・就職先の選択、迷わず 突き進んで欲しい。2月の診療情報管理士試験の受験、診療報酬請求事務能力試 験の結果待ち。

2年生は、充電のお時間。早めに資格試験に取り組めるように指導内容を見直し て宝施。

結果を期待したい。充実した学生生活を期待したい。

1年生は、大学にすっかり慣れ、2月の当科の最初の資格試験である日商簿記試 験に向け頑張っています。指導方法に新たな取り組みを加えた成果を期待したい。





# 臨床技術学科



#### 臨床技術学科 助教 大山 富三

同窓生の皆様におかれましてはそれぞれの分野で元気にご活躍のことと存じます。 当学科は、平成23年度に開設され早いもので平成26年4月に完成年度を迎えま す。これも関係各位のご協力とご支援のお蔭と感謝申し上げます。

1期生である3年生は、昨年9月に第2種ME技術実力検定試験を受験致しました。 本試験は「医用生体工学の知識と実践的資質」を問うもので、特に臨床工学技士 国家試験の前哨戦として位置付けられており合格率は76.1%(全国平均31.4%)で した。学科初の資格試験チェレンジで100%には届きませんでしたが、この結果を踏ま え改善しながら今後も学生・教員一丸となり、ME試験を始め臨床工学技士・臨床検 査技師の両国家資格全員合格を目指し取り組んでいく所存です。

また今年から臨床宝習が開始されます。職種こそ異なりますが、学生が宝習生とし、 て皆様とお会いした際には、同窓の後輩と思い臨床現場についてのご指導のほど何 卒よろしくお願い致します。





#### 「第13回新潟医療福祉学会·学術集会」 開催報告

平成25年10月19日(十)、第13回新潟医療福祉学会・学術集会が、追手 巍 大会長(新潟 医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科長)のもとに新潟医療福祉大学大講堂および GA203教室において開催されました。今大会のテーマは「現場から求められている医療・福祉系 大学の課題」として特別講演およびシンポジウムが企画され、一般演題およびポスター発表が行 われました。一般演題では、本学研究推進機構プロジェクト研究センターにおける5部門の研究成 果が報告されました。

演題数は一般演題では9演題、ポスター発表は56演題、特別講演、シンポジウムを含めますと、 72演題の発表が行われました。すべての発表が終了し、新潟医療福祉学会 会頭賞・奨励賞の表 彰が行われ、同時に新潟医療福祉学会誌(英文誌)の会頭賞の発表がありました。

参加者数は、会員・非会員94名、院生・学生171名および演者(特別講演・シンポジウム)含めて 総参加者数は265名と多くを数え、盛会となりました。

これも会員ならびに賛助企業のご理解、ご協力がなければ無事大会を開催することができません でした。改めて御礼を申し上げます。

また。本学術集会の特別議演およびシンポジウム内容の一部につきましては、新潟医療福祉学 会誌に掲載予定となっております。

第14回新潟医療福祉学会・学術大会は、社会福祉学部長の丸田秋男先生を大会長として開 催される予定です。来年度も多数のご参加をお願い申し上げます。









会頭賞・奨励賞表彰 受賞おめでとうございます。



シンポジウムでの各演者



ポスター発表風景

#### 特別講演: [医療・福祉系大学に何を期待するか]

講師:内山 聖 (魚沼基幹病院 院長、前新潟大学医歯学総合病院 院長)

#### シンポジウム: 「現場から求められている医療・福祉系大学の課題」

1. 「看護師の立場から | 野本 伊江子(西新潟中央病院 看護部長)

2.「理学療法士の立場から」 深川 新市 (新潟県理学療法士会 会長)

3. 「臨床検査技師の立場から」 渡辺 博昭 (新潟県臨床検査技師会 会長)

4. 「臨床工学技士の立場から」 後藤 博之 (新潟県臨床工学技士会 会長) 5.「管理栄養十の立場から」 稲村 雪子 (新潟県栄養十会 会長)

6.「社会福祉士の立場から」 高野 八千代(南魚沼福祉会 魚野の家 施設長)

#### 第13回新潟医療福祉学会·学術集会 会頭賞 奨励賞受賞者

下山 博子(新潟医療福祉大学 健康科学部 看護学科) 受賞テーマ

「人工妊娠中絶を選択した女性や家族へのケアに対する産婦人科看護管理者の意識」

大沼 雅之(新潟医療福祉大学 医療技術学部 義肢装具自立支援学科) **獲励賞** 徳永 由太(医療法人愛広会 新潟リハビリテーション病院)

江玉 睦明(新潟医療福祉大学 医療技術学部 理学療法学科)

平沢 絵里奈(新潟医療福祉大学 医療技術学部 言語聴覚学科)

村山 健一郎(新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科)

#### 新潟医療福祉学会誌(英文誌) 会頭賞 受賞者

Utako Koyama (Division of Health and Welfare, Graduate School of Health and 会頭賞 Welfare, Niigata University of Health and Welfare) 受賞テーマ

Development of a scale to measure the degree of support from public health nurses to promote health promotion volunteers' autonomy in Japan

# No.10春。

#### 研究室Now!

#### 社会福祉学科 講師 五十嵐 紀子



#### O. 先生の研究・活動内容を教えてください。

専門分野はコミュニケーション学ですが、学生当時日本での学術分野としては新しく、英語学という入り口から入った関係もあり、大学院修了以降、英語教育に携わってきました。開学時から本学におりますが、その頃のカリキュラムではコミュニケーション科目はなかったので、英語の教員として覚えて下さっている卒業生の方も多いのではないかと思います。研究分野としてはコミュニケーション教育がメインで、ここ数年は介護分野におけるコミュニケーション教育について研究しています。今の社会ではどのような分野においても「コミュニケーションが大事」と言われますが、「コミュニケーション」とは何か、という定義の仕方そのものが人間関係に影響するということにはあまり目が向けられていません。コミュニケーション学での考え方が少しでも様々な分野で役に立つと信じ、研究や授業、学外での講習会などを通じて広める活動をしています。

また、本学では全学的に海外研修を活発に行っていますが、語学教育としての海外研修にも力を入れ、韓国、カナダ、オーストラリアなどでの語学研修を継続的に行っています。不安な面持ちで出発した学生たちが、研修が終わる頃には大きく成長している姿にはいつも感動します。また、国家間の不穏な情勢がある中でも、学生たちが文化や言葉の壁を超えて交流し、人として理解し合おうとする姿を見ていると、この世の中捨てたものじゃないとも感じます。若者の草の根交流こそが平和な社会を作る力になると信じて止みません。課外活動として、茶道部の指導もしておりますが、ここでも伝統を楽しみながら学び、成長した姿で日常に戻っていく学生の姿に寄り添えるのは、大変幸せなことだと感じています。

#### O. 趣味や休日の過ごし方を教えてください。

ペンギンの可愛らしくユーモラスな姿とその驚くべき生態に魅了され、水族館巡りをしたり、ペンギングッズを集めたりしています。大好きなペンギンの生息地を守るために、エコも心がけています。将来の夢は、フォークランド諸島や南極にペンギンを見に行くことです。また、ここのところ、あまり通えていませんが、茶道を習っています。先生の趣のあるお宅で美味しいお茶とお菓子をいただきながら、心静かなひとときを過ごすのはとても贅沢な時間です。

#### Q. 同窓生へコメントをお願いします。

「自分以外はみんな異文化」であることをいつも忘れず、他者を理解しようと努める ことは生涯にわたって大切なことだと思います。なぜあの人とは理解し合えないんだ ろう思い悩んだら、まずは自分自身の「当たり前の世界」を見つめ直してみましょう。









#### 健康スポーツ学科 准教授 <u>山崎 史恵</u>



#### Q. 先生の研究・活動内容を教えてください。

今年はソチ冬季オリンピックが開催され、数々のドラマがありましたね。私の専門はスポーツ心理学で、特にアスリートへのカウンセリングやメンタルトレーニングなどの心理サポートが中心です。アスリートは表面的な適応は良いので「明るく元気」だと思われがちですが、その背後にあるストレスや苦悩はやはり大変なものです。重篤なケガが生じた場合の心理的影響、厳しい体重管理と摂食障害(拒食症や過食症など)、その他にも、バーンアウトや不眠などの様々な問題が出現し、心理臨床学的(カウンセリング)アプローチを行なったりします。また、試合での実力発揮の問題など競技力アップのためのアプローチも行います。難しいのは、主訴はメンタルトレーニングであっても、実はカウンセリング的支援が必要な選手が多いことです。この判断は見立てによりますが、選手と話し合いながら進めます。

私の研究は、担当したアスリートの相談ケースを事例研究としてまとめるものです。トップアスリートの事例の場合、匿名性には通常よりさらに特別な配慮が必要で、選手が特定されないように、10年くらい、選手が引退後しばらくたつまで、データを寝かせて論文にするのを待ちます。しかし、これでは研究できませんので、別の研究アプローチも行なっています。アスリートの摂食障害をテーマにした研究で、こちらは選手に調査面接(インタビュー)を行って質的なデータを分析したり、心理テストの特徴や傾向を分析してします。現在興味があるのは、減量種目(ボクシングや柔道、レスリングの軽量級)の選手たちが、激しい減量の繰り返しによってどんな体験をしているのか、心理的なリスクを検討したいということです。もともと私はアスリートの摂食障害が研究対象でしたので、拒食症や過食症が生じやすい女子長距離ランナーや新体操の選手たちに焦点を当ててきました。しかし、男性アスリートにも摂食障害に近い問題がかなり

頻発しており、それがこの減量競技に多く見られています。

自然科学系の研究領域とは違い、私の研究領域はデータを気長に待ったり寝かせたりもしますので、その間に自分の考えを整理したり、自分の(サポートの)力量を上げて目前の相談ケースにしっかり対応することを大切にしています。

#### Q. 趣味や休日の過ごし方を教えてください。

休日には大学外の仕事をすることが多く、県の医科学センターで相談室を開設したり、高校の部活動のサポートに入ったり、原稿を書いたりして働いてます。時間ができれば家事をしたり、やんちゃ娘(×2)と暴れん坊(×1)の世話をしたり(猫です)、飲みに行ったりします。

#### Q. 同窓生へコメントをお願いします。

社会でバリバリ活躍する同窓生の皆さんに会うと、自分の年齢が増していることにハッと気が付きます。しかしそれは辛いことではなく、役割を果たしたという嬉しい感覚です。ぜひ大学に立ち寄って顔を見せてください。





第37回 突撃・研究室訪問」の 取材を受けました。 コーチング・クリニック28(1)83 - 85頁. ベースボールマガジン社.



# 心に届くいい話

これを読んでくださっている方で社会人になってから、勉強をしたり何か新しい ことをチャレンジしている方はいらっしゃいますか?

がんばっているという方や、あまり興味がない方、やりたいけど、仕事や家庭が 忙しく何かと時間を取ることが難しいという方など様々だと思います。

私は今、運動を教える仕事に携わっています。まだまだ半人前の私ですが、それ でも私を慕って教室に参加してくれたり、気軽に声をかけてくれる利用者の方が 少しずつ増えていき、毎日とても楽しく業務を行っています。そんな今があるの も、ある先生から言われた言葉が心の支えになっていたからです。

「学ぶことをやめてしまったら、人に教えることはできない。常に向上心を持っ て新しいものを取り入れ、自分を高めていかなければならない。」

三日坊主で面倒くさがりな私も、この言葉を思い出すと自然とがんばれる気

がしました。

「昨年通りで行きましょう。」というフレーズがとても嫌いになりました。もっと改 善できること、できなかったことにチャレンジしていこうという姿勢を常に持つこ とができました。そして、それをしている時は、向上心や探究心をかきたてられて いるからか、とてもワクワクした気持ちになれました。

その先生は、65歳を過ぎた今でも新しいことにチャレンジし、自らの人生に刺 激を与え続けています。私も先生のように、自分に刺激を与え続け、今後の人生を より良いものにできるように努力を重ねていきたいと思っています。

最後になりますが、来年度から私は、仕事と学業の両立にチャレンジします!読 者の皆様もぜひ、新しいこと、ワクワクすることを見つけて一緒にチャレンジして みましょう!きっと楽しい毎日が訪れるはずですよ。

# 県人会活動報告

本学には福島・長野・佐渡の3地区の県人会があります。このたび初の 試みとして3県合同の県人会行事を開催することとなり、平成25年 12月3日、学内にて合同交流会を行いました。

前半は茶話会形式の懇談会とし、学生・教職員合わせ約15名が参加 して和やかな雰囲気で自己紹介や出身地域などの情報交換を行いまし た。「長野のおそばや野沢菜はおいしいよ」「新鮮なお寿司が食べられる 佐渡においでよ」といった具合に、その土地の文化はまず食べ物自慢の 話から知ることが多いようです。

しばらく歓談していると、途中で佐渡県人会の女子学生から「ぜひス ポーツがしたい!」という強い希望があったため、後半はソフトバレー ボール大会を行うこととし、体育館に移動してゲームを行いました。小人 数ながら非常に盛り上がり、充実したひとときを過ごしました。

学内における県人会の知名度は確実に高まっており、参加してみたい と考えている学生が増えていることから、今後もより多くの学生が参加で きる企画を考え実行していきたいと思っています。在学中に県人会で築 いた仲間の輪が卒業して同窓生となってからも続くことを願っています。

今後の県人会の活動にご注目ください。









表彰式でお菓子をゲット!



前半は茶試会形式で自己紹介



参加した県人会の皆さん

# No.10春 2014 3

# 大学TOPIC 1

【医療情報管理学科】【医療経済・QOL研究センター】

## 森脇健介講師が「日本骨粗鬆症学会 第8回 森井賞」 を受賞致しました

10月13日(日)、医療情報管理学科の森脇健介講師が公表した研究論文が日 本骨粗鬆症学会 第8回 森井賞(学会名称:一般社団法人 日本骨粗鬆症学会)を 受賞致しました。

森井賞は「国内で行われた骨粗鬆症に関する臨床研究論文のうち、特に優れ た成果を示した論文(原則として年度1編)」に授与されるものです。

従来、日本における骨粗鬆症領域の医療経済評価は限定的でしたが、本研究 では疫学データに基づき日本人女性における脆弱性骨折の発生に関する数理 モデルを開発し、骨量減少がみられる女性に対する骨折予防治療の開始基準に ついて、費用対効果の観点から評価を行ったものです。今後、日本における骨粗 鬆症治療分野の様々なリサーチクエスチョンに対し、医療経済の視点から示唆 を与える重要な学術的基盤となることが期待されます。

森脇講師の研究論文は、以下の雑誌に掲載されています。

雑誌名: Journal of Bone and Mineral Research, Vol. 28, No. 2, pp 395-403.2013

論文名: Cost-Effectiveness of Alendronate for the Treatment of

Osteopenic Postmenopausal Women in Japan

医療情報管理学科では、専門資格の取得教育だけでなく、日常診療上あるい は医療政策上の意思決定に資するような研究活動も行っています。

# 大学TOPIC 3

【健康栄養学科】

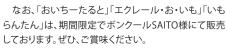
## 第2回『大学は美味しい!!』フェアin新潟へ 参加しました

10月11日(金)~13日(日)に市民交流プラザ アオーレ長岡にて開催されまし た「第2回『大学は美味しい!!』フェアin新潟」に本学健康栄養学科の学生・教員が 参加しました。

『大学は美味しい!!』フェアとは、大学と地域や企業が連携して、商品化した食 べ物を販売・紹介するイベントです。

本学科では、新潟市北区特産物研究協議会及び地元洋菓子店と連携して、商 品化したサツマスイーツ3品を2日間販売し、計600個を完売しました。また、11 日(金)にはシンポジウム「過疎化に大学は何が出来るか」にも参加し、その後の 交流会では、北区農業委員会とともに行っている耕作放棄地でのサツマイモ栽

培や北区特産物研究協議会・地元洋菓子店と連携した サツマイモスイーツの商品化について、本学科の学生 が事例発表を行いました。さらに、13日(日)には、大学 対抗料理バトルに参加し、関連食材を用いたオリジナル 丼を披露しました。3日間のイベントでは、お客様の声を 直接聞くことができたり、各大学と交流・情報交換がで きたりと、実りあるものとなりました。







大学対抗料理バトル



おいちーたると



エクレール・お・いも



いもらんたん

ボンクールSAITO様 新潟市北区松浜本町1-19-11 TEL:025-259-2162 定休日:月曜日

(祝日と重なった場合、翌日)

# 大学TOPIC 2

【健康栄養学科】

## 入山八江准教授が「平成25年度日本栄養改善学会 学会賞」を受賞致しました。

9月12日(木)、健康栄養学科の入山八江准教授が日 本栄養改善学会 学会賞(学会名称:特定非営利活動法 人日本栄養改善学会)を受賞致しました。

本学会賞は「栄養学に関する学術的研究又は実践活 動において、顕著な功績があり、現在も研究に従事して いる者」に授与されます。

入山准教授は「職域における栄養教育と食環境の介 入に関する実践的研究」を研究課題とし、保健所の管理 栄養士として勤務する傍らの本学大学院在学中、2009 年に実施した研究を論文にしました。

新潟市民の健康栄養調査の結果等から、職域にいる 男性の肥満状況の課題に対して、特定給食施設の協力 を得て、実践的な介入研究を行い学位論文にまとめら れました。

今日的な課題でありながら、あまり実践的な研究が なされておらず、これからの栄養教育として根拠を示す ことが求められている研究課題と言えます。









#### 入山先生からのコメント

月並みですが、「継続は力なり」 また、研究は苦しく、挫折もあるけれ ど、「志を高く持てば目標はかなうも の」そんな言葉が好きです。 今後も研究活動に尽力して参ります

健康栄養学科の詳細はこちら > http://www.nuhw.ac.jp/faculty/health/hn/

## 大学TOPIC 4

【言語聴覚学科】

## 第37回日本神経心理学会で 研究発表を行いました(4年生)

9月12日(木)~13日(金)の2日間、札幌市の札幌コンベンションセンターを会 場に『第37回日本神経心理学会』の学術集会が開催されました。

神経心理学は、記憶、言語、聴覚・視覚認知、行動などの機能とその障害を研 究の対象とする分野です。日本における中心的な学術組織の一つである本学会 では、100題を越える多数の研究発表のほか、教育講演やセミナー、シンポジウ ムも開催されました。

本学科の卒業生たちも、毎年こちらの学会で研究発表を行なっています。今年 は1期生、6期生、8期生各1名、9期生6名に加え、学科教員の指導のもと、4年生の 小柳佳与さんも研究発表「SPECTで右側頭頂葉に集積低下がみられた変性疾患 性認知症の一例」を行いました。

また、本学科の今村徹教授がランチョンセミナー「認知症のリハビリテーショ ン:家族、介護者のエンパワメントを中心に」の講師を担当しました。

臨床の現場で自分がまとめた研究につ いて、学会に参加された先生方の質問に 答え討論することで、若い言語聴覚士の臨 床の力はさらに大きく育っていきます。言 語聴覚学科では、そのプロセスがとても重 要であると考えており、卒業生の学会発表 を積極的に支援しています。

また、本学会には発表者以外にもたくさ んの本学科卒業生と在学生が参加してい ました。会場での卒業生同士、そして卒業 生と在学生、学科教員との交流も学会の大 きな役割です。

学会初日終了後には、多くの卒業生と在 学生が集って盛大な食事会(札幌・ビール 園)が行われました。



学会で研究発表を行った小柳佳与さん



卒業生を交えての記念撮影の様子



## 大学TOPIC 6

## 学科を超えてチーム医療を実践的に学ぶ 「連携総合ゼミ | 発表会を開催!

本学では開学以来、「QOL(生活の質)の向上」には保健・医療・福祉・スポーツの連携が不 可欠であると考え、「チーム医療」「チームアプローチ」を実践するために必要なスキルの獲得 に向けた独自の教育を推進しています。

その中のひとつ『連携総合ゼミ』について、9月13日(金)に発表会を実施いたしました。

連携総合ゼミでは、大学より提供される具体的な仮想症例について、関連する学科の学生 が混成のチームを形成し、その総合的支援策について調査・検討を行います。また、提供され

る事例テーマ(仮想症例)は実際の患者様やご家族の協力を得て作成され るものも多く、参加する学生らは、より実践に近い状況でチーム医療・チ ムアプローチを学ぶことができます。

本年度の連携総合ゼミは、9月9日(月)~ 13日(金)に実施され、一部学科 を除く4年生計68名の学生が参加しました。参加学生らは、10の事例テーマ についてそれぞれのチームに分かれ、具体的な支援策を調査・検討し、9月 13日(金)の発表会の場でプレゼンテーションを行いました。

さらに今回の総合ゼミでは、昨年度に続き、他大学の学生参加を受け入 れ、新潟薬科大学、日本歯科大学新潟短期大学の学生13名が本学の学生と 共にチームの一員としてその学びに加わることになっています。

また、昨年に続き、本学が学術提携を結んでいますフィリピンのアンヘレ ス大学との共同研究も実施しており、本学の学びの特色と国際交流を兼ね た活動となっております。



■脳性まひ(疑い)児と育児不安をもつ母親への成長・ 登達支援

- ■児童虐待(ネグレクト)に伴う精神発達遅滞児への成 長•発達支援
- ■中高年者のメタボリックシンドロームの改善(健康系)
- ■筋萎縮性側索硬化症(ALS)ケースの在宅療養実現への支援
  ■私も町のような人になりたい(精神科領域) ■大阪市における小学生虐待死事例の検証
- ■切迫早産・妊娠高血圧症候群で入院が必要になっ た妊婦への援助
- ■開発途上国における村のヘルスケアと障害のある
- 人たちへのリハビリテーション ■高齢者糖尿病合併症の支援策
- ■発達障害児の特別支援教育における外部専門家との協力

#### ■参加した学生のコメント

理学療法学科 4年 岡田悠子 発表テーマ・・・「脳性まひ(疑い)児と育児不安をもつ

をして、様々な立場から介入プランの検討をすることで、より 質の高い医療を提供することができるのだと実感しました。」

看護学科 4年 飯沼佑佳子 マ・・・「児童虐待(ネグレクト)に伴う精神発

発表アーマ・・・・・児面屋侍(イアレアト)に伴う精神発 遠温層別への吸長・発達変更 「連携総合ゼミを通して、他職種の役割を理解し、各専門的な 根点からの支援策を共有することは、対象者によりよい支援 を行うためには大切なことだとをしました。また他職種と連 排する重要性を強く実感するとともに、チーム医療を実践的 に学ぶことができました」

## 大学TOPIC 6

【サッカー部女子部員】

## 目指せ!なでしこJAPAN!!中村楓選手、高村ちさと選手が 「なでしこチャレンジプロジェクト」トレーニングメンバーに選出!!

本学サッカー部女子部員(ア ルビレックス新潟レディース所 属)の中村楓選手(健康スポー ツ学科4年)、高村ちさと選手(健 康スポーツ学科1年)が「なでし こチャレンジプロジェクト」ト レーニングメンバーに選出され ましたので報告いたします。

中村選手、高村選手は2月8日 (十)~11(火)に熊本県内で行



われるなでしこチャレンジトレーニングキャンプに参加いたしました。

新潟医療福祉大学のなでしてプレーヤーに温かいご声援をよろしくお願いい たします!

#### ☆なでしこチャレンジプロジェクト ☆

「なでしこチャレンジプロジェクト」とは、なでしこジャパンに挑戦する選手たち を発掘・育成・強化するプロジェクトです。ナショナルトレセンU-15から上の年代 で、なでしこジャパン予備軍とも言える選手たちを選出・招集し、トレーニング キャンプを行います。トレーニングキャンプをなでしこジャパン(あるいはU-20~ 18日本代表チーム)と同時期・同会場で行い、合同トレーニングやトレーニング マッチで一緒にプレーする機会を持ち、比較・見極めを行うとともに、双方のレベ ルアップを図ることをその目的としています。

# 大学TOPIC 7

【健康スポーツ学科】

## 文部科学省委託事業「東日本大震災被災児童支援事業 にいがたのしぜんであそぼ |活動報告

8月10日(土)・11(日)、五頭少年自然の家にて、健康ス ポーツ学科の学生19名により、文部科学省委託事業「東日 本大震災被災児童支援事業 にいがたのしぜんであそぼ」 活動を行ってきました。

当事業の目的は、東日本大震災被災児童支援で、福島 県の小学生を新潟に招待し、新潟の自然の中で安心して 思いきり遊んで、夏休みの思い出づくりを支援するという ものです。

当日参加した小学生は、54名で、6名ずつ9班にわかれ、 班のリーダーを本学の学生が務めました。

野外活動の内容は、生きる力を養うため自らが率先して 行動する大切さや、人と協力し、自然と協調する力を身に つけるための沢登りや野外炊飯、スポーツ・レクリエーショ ンなど、福島の小学生の元気を取り戻す一助になればと、 学生が全力で小学生と一緒に野外活動を行いました。

本学では引き続き、東日本大震災で被災された方々へ の支援事業を行っていきたいと考えています。









#### ●今回の活動に参加した小学生からもらった寄せ書き

「2日間遊んでくれてありがとう、また一緒に遊んでね」

「もっといっしょにいたかった」

「いっぱいあそんでくれてありがとう。いっぱいなかよくしてくれてありがとう」 「沢登り楽しかったね!2日間ありがとう!」

「2日間楽しい思い出がたくさんできたよ!また、会えたらたくさんあやぼう!」 「2日間楽しかったね。色んな遊びをしてくれてありがとう」

## 大学TOPIC 8

## 平成25年度「北区健幸づくり対策事業」および 「健康遊具で健幸づくり事業」での健康スポーツ学科学生活動報告

本学は新潟市北区と平成22年3月に包括連携協定を締結し、「地域再生の核と なる大学づくり」(Center of Community構想)の実現にむけ、北区での地域貢献 活動を推進しています。平成25年度からは「北区健幸づくり対策事業」および「健 康遊具で健幸づくり事業」が新たにスタートし、運動を中心に北区の皆様の「健幸 づくり」を支援していくことになりました。

まずはその第1弾として、本学の教員(健康スポーツ学科・看護学科)の指導の もと、健康スポーツ学科学生(約30名)が指導スタッフとなり、「ウォーキング運動 講習会」がスタートしました。本講習会は、6月から11月まで月1回、北区3地区(葛 塚地区・北地区・長浦地区)で実施されました。

ウォーキング運動講習会は、区民の生活習慣予防や介護予防、さらには運動不 足解消や基礎体力の維持・向上などを推進するため、身近に利用できる北区の公

園やウォーキングコー スに健康遊具を設置 したり、施設を活用し た運動指導を行ったり しながら、運動習慣の 形成を支援するもので す。学生は地域の方へ の指導実践(体力測 定・ストレッチ・運動・ ウォーキング指導)を 通して、専門知識や技 術のブラッシュアッフ になります。











# N n 10春 2014.3



# 国際協力機構(JICA)生活習慣病予防研修実施報告

本学では、独立行政法人国際協力機構(JICA)の要請を受け、10月24日 (木)~11月22日(金)に渡り、フィジー・バヌアツ・ソロモンの3カ国から看護 師や栄養士等11名の研修員を受け入れ、生活習慣病予防に関する研修を 宝飾いたしました。

今年度の研修は、23名の学生サポートチームによる協力のもと、研修の合 間にパソコン訓練が行われ、1か月という限られた期間を有益なものとなる よう工夫がなされました。研修員からは、本研修でパソコン・写真・絵等の ツールを利用して教材を作る技術を習得でき、本プログラムは様々なター ゲット層向けの健康増進活動に大変役立つというコメントが寄せられたほ か、日本について、衛生的・友好的・協力的であること、また本学の歓迎の意 を感じた等、喜ばしいコメントが得られました。本学で学んだ研修を、是非 帰国後の業務で活かしていただきたいと思います。

■研修期間 10月24日(木)~11月22日(金)

■対象国・人数 フィジー(9名)・バヌアツ(1名)・ソロモン(1名) 計11名

■研 修 目 的 地域医療保健サービスに関わる看護職者が、生活習慣病予防のための知識や技術を獲得し、自 国の実情に合った予防対策計画を立案し、関係者に普及する。

■研修内容 1)自国や大洋州地域における問題点とその対応策の動向(国レベル〜地域レベル)を説明する。 2)日本における生活習慣病の現状・対策とその効果的について理解を深める。(健康診断、栄養、運動) 3)生活習慣病予防に対する具体的な健康教育法および促進法を学ぶ。

4)自国の地域や学校において活用できる生活習慣病予防プログラムおよび教材を作成する。

5)作成したプログラムのモニタリングおよび評価方法を学び、自国における生活習慣病予防計 画を策定し発表する。

昨年に引き続き胎内市での特定健診見学、長岡中央綜合病院見学等を通して、地域ベース の健診と保健指導について理解を深めたほか、学校ベースの健診と健康教育について学ぶた め、佐渡市立両津吉井小学校を訪問し、児童とともに日本の給食を体験しました。そのほか、日 本の保健医療の現状や生活習慣病の対策について、また看護職の生活習慣病対策における現 状と役割について講義が行われたほか、地域住民との運動教室体験やプール体験を通して日 本の生活習慣病対策を学ぶプログラムが組まれ、研修員の理解がより深まりました。

国際交流関連では、森新潟県副知事、篠 田新潟市長への表敬訪問が行われたほか、 アルビレックス新潟のサッカー観戦が行わ れました。

佐渡研修旅行では、山本学長も同行し。佐 渡金山、鼓童体験、たらい舟体験、トキの森 公園を訪問する「日本文化体験」プログラム が行われました。







3週目のプログラムでは、日本の健康診断の方法や保健指導 の方法について学んだ他、栄養教育実習では、健康栄養学科の 学生とともに各国の料理を作成し、各国の代表的な日常食料理 バイキングを涌して1食分の適量を把握するための教育法につ いて学ぶ機会となりました。

国際交流委員会では、『コーヒーハウス』イベントに研修員を 招き、民族衣装の披露や国紹介などを通して学生との交流の機 会を持ちました。また、弥彦村・新潟市内観光の他、青年海外協 力隊OBとの交流会も行われました。



観光の様子(弥彦村)









4週目のプログラムでは、実践的な生活習慣病予防介 入法とその指導方法を学習するための講義・実習のほ か、自国の生活習慣病予防プログラムと教材の作成が行 われました。

子ども向け・大人向けの効果的な運動教育方法では、 新聞紙を使った運動や日本のラジオ体操(英語版)など が行われ、実際に身体を動かして学ぶ機会となりました。 また、先日行われたお国自慢バイキングの際に作成した 食材の写真等を使用して、栄養教材の作成などが行われ たほか、運動や健診のDVD教材のための撮影が行わ れました。

また、茶道部の学生によるお茶会体験が行われました。



折り紙体験後の記念撮影



運動教育実習 子ども向け運動の様子(新聞紙を使って



軍動教育実習 大人向け運動の様子(ラジオ体操



栄養数材作成の様子

5週目のプログラムでは、作成した生活習慣病予防プログラムのモニタリングおよび介入プ ログラム計画を作成しました。

また、研修初日に発表した各国の自治体の既存の計画に本研修をどのように位置づけるか、 各国での実施と普及への戦略について説明が行われました。

最終日には発表会が行われ、各国の生活 習慣病予防のプログラムと作成した栄養の 教材や子ども向け・大人向け運動DVD、健診 方法DVDが披露された他自国でのアクショ ンプランについて発表し、研修総括が行われ ました。閉講式では JICA 北陸堀内支部 長および本学山本学長より研修員11名へ修 了書が授与され、渡辺副学長より記念品が贈

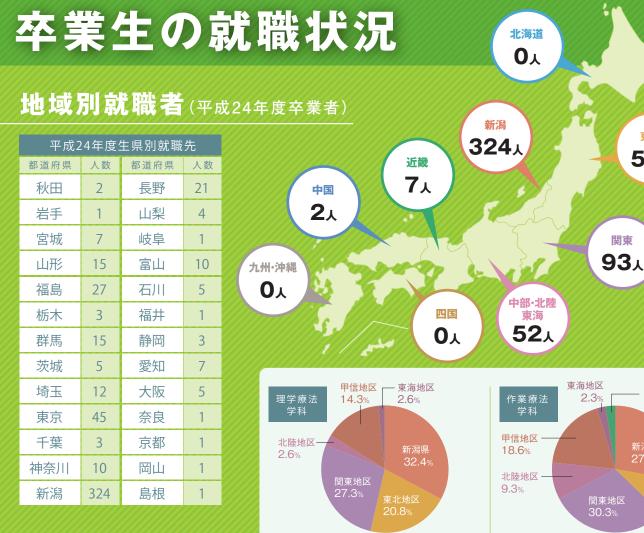




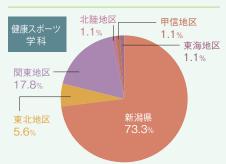


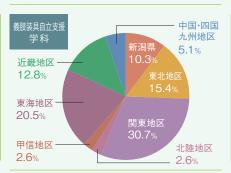
送別会にて よさこい部と記念撮















東北

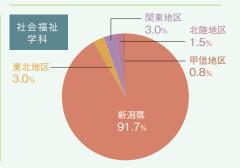
**52**<sub>人</sub>

近畿地区

東北地区

2.3%

関東



#### 医療•保健施設

医療法人愛広会/社会医療法人桑名恵風会 桑名病院/独立行政法人国立病院機構 関東 信越ブロック/独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院/社会福祉法人恩賜財団済生 会 洛生会新潟第二病院/社会福祉法 人恩賜財団洛生会支部新潟県洛生会 三条病院/医 療法人社団ささえ愛よろず よろずケアタウン/医療法人積発堂 富永草野病院/社団法人 上越医師会 上越地域医療センター病院/医療法人常心会 川室記念病院/白根保健生活 協同組合 白根健生病院/医療法人新光会 村上記念病院/医療法人心泉会 上條記念病 院/特定医療法人水明会 佐潟荘/医療法人崇徳会 田宮病院/長岡西病院/医療法人高 田西城会 高田西城病院/医療法人立川メディカルセンター/医療法人立川メディカルセン 悠遊健康村病院/医療法人徳洲会 山北徳洲会病院/日本赤十字社 長岡赤十字病 院/医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院/新潟県厚生農業協同組合連合会/新潟県厚 生農業協同組合連合会 阿賀野市水原郷病院/新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央 綜合病院/社団法人新潟県労働衛生医学協会/社会福祉法人新潟市社会事業協会 信楽園 病院/新潟市民病院/国立大学法人新潟大学 新潟大学医歯学総合病院/一般財団法人新 潟手の外科研究所 新潟手の外科研究所病院/医療法人社団白美会/医療法人社団白美会 白根大通病院/医療法人美郷会 西蒲中央病院/医療法人明精会 会津西病院/社会医 療法人嵐陽会 三之町病院/独立行政法人労働者健康福祉機構 新潟労災病院/医療法人 社団eーメディカル eーメディカル整形外科/医療法人KOSMI こん整形外科クリニック/ 医療法人佐藤医院/株式会社ゼネラルスタッフ/医療法人社団萌気会 浦佐診療所/社会福 祉法人桃林福祉会 介護老人保健施設サンクス米山/社会福祉法人苗場福祉会/医療法人 松田会 松田病院/財団法人宮城厚生協会/財団法人湯浅報恩会 寿泉堂綜合病院/社会 医療法人明和会/庄内医療生活協同組合/庄内医療生活協同組合 鶴岡協立リハビリテー ション病院/国立大学法人東北大学 東北大学病院/医療法人社団山形愛心会 庄内余目 病院/地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構/社会医療法人二本松会 山形さくら町病 院/国立大学法人山形大学 山形大学医学部附属病院/医療法人幸和会 美咲クリニック/ 一般財団法人太田綜合病院/一般財団法人温知会 会津中央病院/一般財団法人竹田健康 財団 竹田綜合病院/一般財団法人脳神経疾患研究所 附属総合南東北病院/医療法人社 団三成会 南東北春日リハビリテーション病院/公立大学法人福島県立医科大学/医療法人 源守会 会田記念リハビリテーション病院/医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院/国立 大学法人筑波大学 筑波大学附属病院/社会医療法人博愛会 菅間記念病院/伊澤整形外 科/かみもとスポーツクリニック/社会医療法人輝城会 沼田脳神経外科循環器科病院/群 馬大学医学部附属病院/医療法人社団三思会 東邦病院/医療法人島門会 本島総合病院 /利根保健生活協同組合 利根中央病院/財団法人脳血管研究所 美原記念病院/医療法 人IMSグループ 板橋中央総合病院グループ/医療法人社団協友会 八潮中央総合病院/ 医療法人大壮会 久喜すずのき病院/医療法人敬愛会 リハビリテーション天草病院/学校 法人埼玉医科大学/ 埼玉医科大学国際医療センター/学校法人埼玉医科大学 埼玉医科 大学病院/日本赤十字社 さいたま赤十字病院/学校法人自治医科大学 自治医科大学附 属さいたま医療センター/レン・ファミリークリニック/社会福祉法人熊谷福祉会 介護老人保 健施設はなぶさ/国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院/医療法人社団三喜会 鶴 巻温泉病院/医療法人社団哺育会 さがみリハビリテーション病院/医療法人社団緑野会 みどり野リハビリテーション病院/医療法人社団亮正会 虹が丘リハビリケアセンター/財団 法人ライフ・エクステンション研究所付属 永寿総合病院/医療法人社団永生会 永生病院/ 医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院/学校法人杏林学園 杏林大学医学部付 属病院/社会医療法人社団健生会 立川相互病院/独立行政法人国立がん研究センター中 央病院/学校法人順天堂 順天堂大学医学部附属練馬病院/医療法人社団誠態会 新東京 病院/医療法人社団瑞心会 杉並リハビリテーション病院/医療法人財団正明会 山田記念 病院/東京慈恵会医科大学/医療法人社団同善会 同善病院/同善会クリニック/日本赤十 字社 武蔵野赤十字病院/医療法人財団明理会 春日部中央総合病院/医療法人社団陽和 会 武蔵野陽和会病院/医療法人社団秀匠会 わしざわ整形外科/社会福祉法人長岡福祉 協会 首都圏事業部/医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院/医療法人社団協友会 柏厚生総合病院/医療法人社団千葉秀心会 東船橋病院/社会医療法人財団慈泉会 相澤 病院/茅野市·諏訪市·原村組合立 諏訪中央病院/長野県厚生農業協同組合連合会 佐久 総合病院/長野県厚生農業協同組合連合会 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター/長 野県厚生農業協同組合連合会 篠ノ井総合病院/地方独立行政法人長野県立病院機構 長 野県立大曽病院/地方独立行政法人長野県立病院機構 長野県立こども病院/日本赤十字 社 長野赤十字病院/医療法人みゆき会/アレックスメディカルグループ上田整形外科クリ ニック/医療法人慈光会 甲府城南病院/医療法人社団アルベン会 アルベンリハビリテー ション病院/医療法人社団秋桜 丸川病院/医療法人社団藤聖会 八尾総合病院/医療法 人深川病院/社会福祉法人とやま虹の会/医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院/社 団法人石川勤労者医療協会 城北病院/医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター/ 学校法人金沢医科大学 金沢医科大学病院/医療法人財団百葉の会 湖山リハビリテーショ ン病院/医療法人中西整形外科/医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院/淀川キリスト教病 院グループ

#### 福祉施設

社会福祉法人愛宕福祉会/社会福祉法人いじみの福祉会/株式会社ウェルケア新津/社会福祉法人魚沼福祉会 特別養護老人ホーム美雪園/社会福祉法人岡山福祉会 デイサー

ビスセンターおかやま/社会福祉法人小千谷北魚沼福祉会/社会福祉法人かえつ福祉会 特 別養護老人ホーム阿賀浦の郷/社会福祉法人亀田郷芦沼会/社会福祉法人県央福祉会/社 会福祉法人健周福祉会 特別養護老人ホーム江東園/社会福祉法人江東園/社会福祉法人 さかえ福祉会/社会福祉法人桜井の里福祉会/社会福祉法人紫雲寺加治川福祉会 特別養 護老人ホームしうんじ/社会福祉法人上越老人福祉協会/社会福祉法人常陽会/社会福祉法 人仁成福祉協会/株式会社生活サポーターふるまい/社会福祉法人つばめ福祉会/社会福 祉法人十日町福祉会/社会福祉法人長岡三古老人福祉会/社会福祉法人長岡福寿会 特別 養護老人ホームまちだ園/社会福祉法人新潟市社会事業協会 特別養護老人ホーム松風園 社会福祉法人新潟南福祉会/社会福祉法人新潟南福祉会 特別養護老人ホーム黒埼の里 /社会福祉法人新潟臨港福祉会/社会福祉法人二王子会/社会福祉法人早川福祉会/社会 福祉法人見附福祉会/社会福祉法人村上岩船福祉会 特別養護老人ホームいわくすの里/ 社会福祉法人茨塚福祉会/社会福祉法人上越福祉会/社会福祉法人上越つくしの里医療福 祉協会/社会福祉法人白蓮福祉会/社会福祉法人親和福祉会/社会福祉法人中越福祉会 みのわの里/社会福祉法人新潟太陽福祉会/医療法人愛仁会 新潟市地域包括支援セン ターかめだ/更生保護法人新潟県保護会 新潟川岸寮/社会福祉法人中東福祉会/社会福 祉法人長岡福祉協会/社会福祉法人新潟カリタス会/社会福祉法人新潟みずほ福祉会/社 会福祉法人のぞみの家福祉会/社会福祉法人新潟県社会福祉協議会/社会福祉法人新発田 市社会福祉協議会/社会福祉法人村上市社会福祉協議会/社会福祉法人柏崎市社会福祉協 議会/社会福祉法人五泉市社会福祉協議会/社会福祉法人山形市社会福祉事業団/社会福 祉法人 F州水土舎/社会福祉法人県央福祉会/こどもの森グループ 社会福祉法人じろう会 /学校法人三幸学園 ぽけっとランド/社会福祉法人廣望会

#### 公務(警察官·教員·行政)·学校·団体·組合

新潟県職員(作業療法士)/新潟県病院局(看護師)/新潟県警察本部/新潟市職員(消防)/ 燕・弥彦総合事務組合(消防)/協同組合三条給食センター/学校法人新潟総合学園 新潟医 療福祉大学/越後ながおか農業協同組合/にいがた岩船農業協同組合/越後おぢや農業協 同組合/下越障害福祉事務組合職員/公益財団法人新潟県保健衛生センター/財団法人健 康医学予防協会/財団法人新潟県体育協会/鶴岡市職員(言語聴覚士)/山形県職員(看護 師)/特定非営利活動法人 山形親子療育支援ネットワーク/茨城県警察本部/嶺北消防組 合/東京都公立学校教員

#### 企業

【医療福祉サービス企業】新井リハ工房株式会社/特定非営利活動法人 いぶきの杜/株式 会社加治川の里/株式会社コミュニティサービス新潟/株式会社セラビ/株式会社はあとふる あたご/有限会社フィールドプロテクト 介護予防ジョイリハ/株式会社やさしい手【委託給食 企業]石本商事株式会社/日清医療食品株式会社 中部支店/富士産業株式会社/日清医療 食品株式会社 東京支店/富士産業株式会社【スポーツ関連企業】株式会社井手塾 カーブ ス事業部/有限会社オフィス中條 オアシススポーツクラブ/こいこいスポーツクラブおぢや /リーフラス株式会社/一般社団法人阿賀健康づくりセンター 里山げんき倶楽部/株式会 社globeコーポレーション/グローバルメディカル研究所株式会社 会員制プライベートジム RIZAP/株式会社THINKフィットネス ゴールドジム/住友不動産エスフォルタ株式会社/ 株式会社アクトス【義肢装具製造販売企業】加藤義肢製作所/有限会社長谷川義肢製作所/ 株式会社シュー・フォーラム 楽歩堂靴店/有限会社平賀義肢製作所/有限会社スエヨシ補装 具製作所/株式会社東北補装具製作所/有限会社サガミ義肢製作所/有限会社湘南義肢研 究所/株式会社エヌ・オー・ティー/有限会社共立義肢/株式会社田沢製作所/有限会社森義 肢製作所 東京本社/有限会社吉田義肢装具研究所/合資会社北信義肢工業所/株式会社 金沢義肢製作所/株式会社AKAISHI/有限会社愛北義肢製作所/有限会社朝日義肢製作所 / 東名ブレース株式会社 / 株式会社洛北義肢 / 川村義肢株式会社 / 株式会社奈良義肢 / 橋 本義肢製作株式会社/有限会社原義肢製作所【一般企業】株式会社アグロジャパン/アサヒア レックス株式会社/株式会社安中製作所/有限会社和泉屋/株式会社エースミス/株式会社 ABC Cooking Studio/NSGグループ/株式会社エム・アイ・ディジャパン/オリジナ ル設計株式会社/株式会社川内自動車/株式会社クスリのアオキ/サントリービバレッジサー ビス株式会社/株式会社シマキュウ/シリウスグループ/信越企業株式会社/新建ビルド株 式会社/株式会社スズキ自販新潟/セコム上信越株式会社/大和冷機工業株式会社/ダム ズグループ 株式会社第一実業/中越クリーンサービス株式会社/株式会社星光堂薬局/長 岡信用金庫/新潟綜合警備保障株式会社/株式会社新潟ビルサービス/新潟ファーネス工業 株式会社/新潟ヤクルト販売株式会社/株式会社ニッカイ米山/ネッツトヨタ新潟株式会社/ 東日本三菱自動車販売株式会社/東日本旅客鉄道株式会社/株式会社ビット・エイ/有限会社 福泉/平安セレモニー株式会社/ホシザキ北信越株式会社/株式会社ホテル泉慶/株式会 社本間釣具店/株式会社丸山自動車/株式会社マンションセンター/三国コカ・コーラボトリ ング株式会社/有限会社みやけ食品 新潟営業所/山津水産株式会社/株式会社サノ・ ファーマシー/丸木医科器械株式会社/山形日産自動車株式会社/福島建機株式会社/株 式会社ノジマ/株式会社ハーツエイコー/株式会社オーエンス/株式会社ココスジャパン/ 大東建託株式会社/株式会社日本生科学研究所/株式会社日本旅行/有限会社パムック/ 株式会社ボディワーク/株式会社モンテローザ/株式会社レオパレス21/セキスイハイム信 越株式会社/積翠寺温泉 坐忘庵/株式会社ワールドストアパートナーズ

学友会

# 1年間の活動報告

平成25年度学友会会長 臨床技術学科3年 阿部拓也



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

大学生活での多くの出会いや培った絆、勉学に励み将来の礎を築いた日々は、皆様の心に色濃く残る思い出になるのではないでしょうか。

また日頃より学友会の活動に多大なご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。今年度も皆様のご協力やご参加により、第3回桃迎会や第13回伍桃祭、スポーツ大会、美化キャンペーン等様々な行事で大いに賑わいを見せて終えることができました。

今年度は、第13回伍桃祭のテーマでもあります「Hands in Hands~つながる想い~」ということで、日々共に切磋琢磨して大学生活を送る仲間との絆を大切にすることを胸に抱き、学友会一同1年間活動をして参りました。今年で3回目となる桃迎会では例年より更にスケールアップし、オープンキャンパスと同時開催することで新入生歓迎の意はもちろん、高校生の方にも新潟医療福祉大学の温かい雰囲気や大学生活で出会う仲間達との絆などをより深く感じてもらうことができました。また、伍桃祭でもクイズ大会や出店ランキングなどチームで参加する新たな企画も増え、参加者や来場者の方々も含め大いに盛り上がることができ、思い思いの表現で仲間との絆の素晴らしさを伝えることができたと思います。

来年度も先輩方から引き継いだ伝統を重んじ、熱い情熱を後輩達へ伝えていきます。

最後になりますが、学友会は学生と共に新潟医療福祉大学を盛り上げ、より良い大学を築くために活動していきます。これからもどうか学友会を温かく見守って頂けたら幸いです。近くに来られた際には、是非お顔を見せて頂きたいと思います。卒業生の皆様のこれからのご活躍を心より願っております。



# 第13回伍桃祭(大学祭)報告

第13回伍桃祭実行委員長 小林 弘植



# 伍桃祭を終えて

今年の伍桃祭のテーマである、「Hands in Hands ~ つながる想い~」には、多くの方々との出会い、人と人との想いをつなぎ、この伍桃祭をきっかけに日々の感謝、想いを友人・家族・諸先生方・地域の方々など、自分とつながっている人に伝えてほしいという願いを込めました。

当日は、SKY-HIのライブ、ホームカミングデー、Ms.&Mr. コンテストや部活動・サークルによるパフォーマンス、模擬店、そして新イベントとしてチーム対抗クイズ大会やスタンプラリー、出店グランプリ等々、多くのイベントを通して、来ていただいた方と一緒に盛り上がることができ、伍桃祭を楽しく開催できたのではないかと思います。

最後になりましたが、無事に伍桃祭を終えることができたのも、学生や教職員の方々をはじめ、地域の方々や企業の方々など、多くの方々にご協力して頂いたおかげです。そして、一緒に企画・運営をしてくれた学友会・伍桃祭実行委員に感謝いたします。ありがとうございました。









# No 10春 2014 3

# 強化指定クラブ

# ■ 硬式野球部

私たちは、今年度、新潟医療福祉大学硬式野球部として、佐藤和也監督の下、西原部 長、大矢コーチ、1年生29名(学生コーチ1名)、マネージャー2名で、スタートを切りました。そして、創部1年目ということもあり、初めてづくしの1年間でした。

5月には、私たちが所属する、関甲新学生野球連盟1部リーグの試合観戦や、選手権・神宮大会などが行われる、明治神宮球場で、東京六大学野球の試合を観戦し、大学トップレベルの選手達のプレーを見て、とてもいい刺激を受けました。

初参戦となった秋のリーグ戦では、初戦で公式戦初勝利を達成。しかし、最終成績は、3部リーグ5位(3勝3敗)という結果に終わり、とても悔じい経験と共に、大学野球の厳しさを学びました。しかし、得るものはそれ以上に多く、本当に良い経験をさせてい

ただいたと思います。



また、中学生のクラブチームや、高校の女子チーム を対象に指導する機会があり、人に教えることの難し さを学び、将来、指導者志望の選手が多い中で、とて も貴重な経験をさせていただきました。

そして何より、硬式野球部専用のグラウンドや、ト レーニングルーム、平成26年3月完成予定である、室



内練習場など、野球をするにあたり素晴らしい環境を整えて下さった、大学関係者の 方々や、1年間支えて下さった皆様には、心から感謝しております。

来年度は、チームの最大の目標である、全日本大学野球選手権出場・明治神宮大会出場に向け、より一層、努力していきたいと思いますので、応援よろしくお願い致します。

硬式野球部主将健康スポーツ学科1年 橋本 彗

# ■ 女子バレーボール部

本学女子バレーボール部は今年度より強化指定クラブとしてスタートし、3年生2名、 2年生2名(マネージャー1名)、1年生9名で活動してきました。

5月に行われた春季北信越大学リーグ戦では、2部リーグを全勝優勝そして1部下位 との入替戦も勝利し無事1部リーグへ昇格することができ、幸先の良いスタートを切る ことができました。

また、6月に行われた東日本インカレでは、初戦にて関東大学1部リーグの松陰大学と対戦し関東の壁を痛感してきましたが、その悔しさをバネに練習に励んだことで7月に行われました中部日本総合大会では、北信越大学1部リーグ2位の金城大学に見事勝利し3位になることができました。

しかし、10月に行われました秋季北信越大学リーグ戦では、1部リーグ上位3チーム に与えられる全日本インカレの出場権を獲ることを目標に戦いましたが、惜しくもセット率の差で4位となり、12月に行われました全日本インカレには出場することができませんでした。

戦績の面では1年目といえども思うような結果が残せず悔しい思いをしており、来年 度は是非とも今年度以上の結果を残せるようにざらに精進していきたいと思っており ます。 また、女子バレーボール部は技術練習だけでなく日頃からトレーニングにも重点を 置き4年間戦える身体作りをしています。

その成果が4月の入学当初と比べると目に見えて出てきていますし、4月には新入生を迎え人数が増えることで、より活発な活動ができると思っております。

. 普段よりで支援してくださっているで父兄の方々、大学関係者の方々、また応援してくださる地元の方々には大変感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。

女子バレーボール部監督 濵野 礼奈





# ■ ダンス部

創部一年目のダンス部では、全てが初めてであり一からのスタートでした。基盤、礎を築き様々なイベントや大会に果敢に挑戦することを目標に行ってきましたが、6月に行った第1回学内発表会を筆頭に、学内定期ダンス発表会、児童館や小学校に出向いてのダンス発表、ダンス教室の開催、大会・コンケールの出場と様々な活動の場があり、常に自標に向かって練習に励みました。また、3月には1年間の集大成として学外での自主公演会があり、企画、運営などあらゆることを自らで行います。大会においては、兵庫県・富山県・秋田県・宮城県など至るところでの大会にソロ、群舞問わず出場しました。中でも8月に行われた「全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)」では、予選通過を果たし入選することができました。創部してから間もない期間でこのような結果を残すことができ、自信や活力を得ると共に、今後の課題や目標を見つけることができました。来年度は「躍」をキーワードに、躍動する身体づくり、躍進するチームを目指し、学内・北区・下越・全国と着実に活躍の場を増やして更なる飛躍の年にしていきたいです。ダンスは身体表現であり、その姿からダンサーの人間性が垣間見られます。そのため日常生活から心と身体を研ぎ澄まし、観てくださった方々の心に響くパフォーマンスが出来るよう、日々練習に励んで行きたいです。

ダンス部部長 大学院 医療福祉学研究科 健康科学専攻1年。 吉崎 慈保





## 男子サッカー部

私たち男子サッカー部は、2013-2014シーズンの目 標を「2年連続の総理大臣杯・インカレ出場!」、「全国での勝利!」とし活動を始めました。春のプレシーズンや 夏の中断期間には、J・1 アルビレックス新潟や横浜 F マリノスをはじめ多くの強化試合を通してチーム力を 向に勤めました。しかしながら、北信越大学サッカー リーグの最終成績は4位。また、6月に行われた総理大

臣杯全日本大学サッカードーナメント北信越大会は3位と、いずれも全国大会出場を果たすことができませんでした。今シーズンは昨年の4年 生が抜けた穴を埋めることができず、なかなか自分たちのサッカーが できませんでした。

全国大会に出場することはできませんでしたが、日頃から大学関係者 の皆様や練習施設の方々などたくさんの人たちに支えて頂いたことを 部員一同感謝しています。ありがとうございました。

個人では、昨年度に引き続き中田大貴選手(健康スポーツ学科3年・ 富山第一高校出身)が北信越大学サッカーリーグベストイレブン、そし で東海・北信越大学選抜選手としてデンソーカップチャレンジサッカー に出場じました。

ーズンに後輩たちが、自分たちが成し遂げることができなか 目標を達成してくれると信じています。これからも新潟医療福祉大学 サッカー部に温かいご声援のほどよろしくお願いいたします。

男子サッカー部 主将 健康スポーツ学科 4年 伊藤 甲志郎







## 女子サッカー部

私たち女子サッカー部は、全日本大学女子サッカー選 手権北信越大会を連覇し、2年連続で全日本大学女子 サッカー選手権大会(以下イシカレ)に出場しました。

インカレでは、1回戦の徳山大学をPK戦で下し、2回 戦へ進出しました。2回戦は、関西リーグを優勝した武庫 川女子大学との対戦になりました。その試合に前半2-0、 後半1-2の3-2で勝利することができました。ベスト4進

出をかけた3回戦の筑波大学戦では、P.Kまでもつれ込みましたが、残念ながら敗戦 となりました。しかしながら、チームとして初の全国ペスト8という結果を残すことがで きました

個人としては、甲斐そらみ(健康スポーツ学科2年)と共にミャンマーで行われたAFF WOMEN'S CHAMPIONSHIP 2013に日本女子選抜として出場し、日本の優勝に貢献す ることができました

また、東京で開催された国民体育大会では、新潟県国体選抜として12名(佐藤智奈 美、目黒真里奈、比嘉ちなつ、堀越香央利、甲斐そらみ、高橋美夕紀、深沢美希、菊地優 花、小川麻衣、島袋瑠意ジョイス、高橋綿子、山谷瑠香)が選出されました。

今年度は、全国やアジア大会を舞台に個人として、そしてチームとしても良い経験ができました。3年目を迎え る来年度は、さらに良い結果を残せるように、この経験を活かし、自分自身や仲間を信じてしっかりとトレーニン グを積み重ねていきます

これからも、新潟から女子サッカーの魅力を発信できるように精一杯頑張ります。応援よるしくお願いいたし

女子サッカー部 主将 健康スポーツ学科2年 高橋 美夕紀

00000000000

000000000000

# ■ 陸上競技部

今年度の陸上競技部は新たに多くの新入部員が加わり、部員 1.0.0 人を超える大き な組織として成長しました。そして今年度は人数的にも、実績的にも充実してきました。

5月に新潟市陸上競技場で行われた北信越学生陸上対抗選手権大会で男女総合2連 覇を果たじ、9月に国立競技場で行われた全日本学生陸上対抗選手権大会(全日本イン カレ)に数多くの選手が出場しました。また、国体や日本選手権、全日本女子駅伝に出場 するなど全国規模の大会に出場することが多くなり、短距離の4×400mRチームが 男女ともに日本選手権リレー大会に出場し、男子が新潟県新記録で7位に入賞するとい う快挙を達成することができ、新たな歴史を作ることが出来ました。

これからはコーチ陣とともに日々トレーニングを積んでいき、全日本インカレや日本選 手権において入賞者や優勝者を出し、地方の大学でも全国に通用することを証明したい と思い、頑張って行きます。これからの陸上競技部に期待とともに応援をよろしくお願い します。

陸上競技部 主将 健康スポーツ学科3年・山崎 勇哉







# ■ 水泳部

2013年、水泳部は創部9年目を迎え、今年も新たな歴史をいくつか刻むことができま した。

まず、4月に行なわれた日本選手権水泳競技大会において、高田恭兵選手(健康ス ポーツ学科3年)が50m背泳ぎで6位入賞、松井浩亮選手(理学療法学科2年)が5 0 m自由形で6位入賞を果たしました。さらに、5月に行なわれたジャパンオープンで は、佐藤綾選手(健康スポーツ学科1年)が8位入賞と、全日本レベルの大会で入賞者 を複数名輩出しました。

団体でも、日本学生選手権の予選会として7月に行われた中部学生選手権では、昨年 に続き男女とも総合2位を獲得し、男女揃って日本学生選手権の団体出場権を獲得する ことができました。さらに、9月に行われた日本学生選手権では、松井浩亮選手、佐藤綾選 手がそろって4位入賞。そして、男女あわせて過去最高得点を獲得しました。

また、水泳部では、競技力向上だけでなく、新潟県内の大会で競技役員など大会運営 のお手伝いや、地域の小学校にボランディアで水泳指導に行くなど、水泳を通した地域 貢献も積極的に行なっております。

創部以来のこの9年間、保護者や卒業生を始め、多くの方々からチームを支えていただ いたことで、今の水泳部が成り立っております。これからも多くの方々から応援される

チームを目指していきたいと思います。

来年度、水泳部は創部10周年を迎えます。1つの節目として「更なる飛躍」を目指し てこれからも水泳部一丸となって頑張っていきたいと思いますのでご声援よろしくお願 いします。

水泳部監督 下山 好充





# **■ 男子バスケットボール部**

・男子バスケットボール部は4月から新体制になり、インカレ出場を目標にシーズンに入りました。5月の北信越学生春季リーグ戦で4位になり、多くの課題が見つかり、メンタル・技術・体力の強化に取り組みました。8月の甲信越大学バスケットボール定期船では優勝。10月の北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選では2位になり、5年ぶり2回目のインカレ出場を決めました。11月に行われたインカレでは1回戦東海1位の愛知学泉と対戦しました。相手はインカレ常連校で胸を借りるつもりで試合に臨みましたが、慣れない雰囲気と緊張から普段起こらないミスが続き、相手ベースで試合を運ばれ初戦敗退しました。12月の新潟県学生バスケットボール選手権では優勝で今シーズンが終わりました。チームは確実にレベルアップしていますがまだまだカ不足です。今年度の経験を今後の練習に反映して全国で通用するチームになるためにより一層の努力をしていきます。これからもご声援をお願いいたします。

男子バスケットボール部監督・梅津 卓



# ■ 女子バスケットボール部

- 4月 第67回近県大会バスケットボール選手権大会 優勝
- 新潟医療福祉大 74-70・ULTEMATES 5月・第47回笹本争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦 優勝

	1部	1	2	3	4	5	勝	負	順位
	1.新潟医療福祉大学		O 65-57	O 63-62	O 95-65	O 81-79	4	0	1
	2.信州大学	× 57-65		× 78-82	× 39-74	× 57-73	0	4	5
	3.長野大学	× 62-63	O 82-78		O 70-63	× 53-74	2	2	4
٠	4.新潟経営大学	× 65-95	O 74-39	× 63-70		O 86-56	2	2	2
	5.北陸学院大学	× 79-81	O 73-57	O 74-53	× 56-86		2	2	3

- 5月 第10回新潟カップバスケットボール大会 優勝
  - 新潟医療福祉大・77-64 新潟経営大
- 7月 第58回新潟日報杯バスケットボール大会 準優勝
  - 新潟医療福祉大 60-101 ULTEMATES
- 10月 ・ 平成25年度新潟県バスケットボール選手権大会 兼全日本総合バスケットボール選手権大会新潟県予選会 兼第33回北信越総合バスケットボール選手権大会新潟県予選 優勝 新潟医療福祉大・77-75 ULTEMATES

## 第47回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選・全勝優勝

1回戦 新潟医療福祉大学 178-23 福井県立大学(福井県) 2回戦 新潟医療福祉大学 72-57 信州大学(長野県) 決勝リーグ 新潟医療福祉大学 7.6-48 北陸学院大学(石川県)

決勝リーグ・新潟医療福祉大学・76-54・経営大学

	1	2	3	勝	負	順位
1.新潟医療福祉大学		○ 76-54	○ 76-48	2	0	1
2.新潟経営大学	× 54-76		× 58-88	0	2	3
3.北陸学院大学	× 48-76	O 88-58		1	1	2

#### ●得点ランキング・

٠.	RANK	ポイント	氏 名	大 学	学年	NO.	ポジション	出身校
:	1	49点	ナウタヴァイ圭理	新潟経営大学	1	17	C	埼玉栄
	2	44点	川端 翔子	北陸学院大学	2	9	PF	金沢西
	3	43点	加藤 千夏	新潟医療福祉大学	2	72	С	新潟中央
ŀ	4	40点	佐藤 歩	新潟経営大学	4	6	PF	豊栄
٠	5	39点	木暮 彩華	新潟医療福祉大学	4	4	SG	足羽
÷	. 3   37	ンノボ	中川 千鶴	北陸学院大学	4	14	PG	富山北部

第33回北信越総合バスケットボール選手権大会兼全日本総合バスケットボール選手権大会北信越予選会 優勝 新潟医療福祉大・81-72 右川教員

第65回全日本大学バスケットボール選手権大会結果報告

北信越1位 関東4位

新潟医療福祉大学 68-83・拓殖大学 第80回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会

新潟医療福祉大学 74-75 鶴屋百貨店



#### サークル紹介

### フリーペーパー製作団体RiRi

## 『学生が夢を持って行動するキッカケ』

RiRiはこの活動方針のもとで、新潟医療福祉大学に通う学生のキャンパスライフをもっと豊かに、自分の好きなことに夢中になれる環境の創造を目指して、フリーペーパーを発行し、情報発信をしています。

多様な選択肢がある学生において、多様だからこそ見落とし

てしまうことが多い、身近にある「見方を変えればこんなに面白い情報」や「夢に向かって 躍進する学生」をもっと知って欲しい。知っていることが増えれば、きっと「自分の好きなこ と、やりたいこと」が見えてくる。さらにその好きという感情は時に人を動かし、人と人とを 繋いでいくキッカケにもなります。RIRIでは洋服のジップのように人と人とが繋がる架け 橋になることを目指しています。

また、不定期で発行しているRIRI別冊では、RIRI自身の学内外での活動を取り上げ、RIRI が学生に感じて欲しい「行動する意義」を伝えています。やらないということも選択肢だけ ど、やった方が学生生活は豊かになるという事をRIRIが実際に行動して、その意義を伝え ることを目標にしています。

代表 健康スポーツ学科4年 濱田 祐輔

# RiRi presents LIPDUB

#### 『新潟医療福祉大学の楽しさを多くの人に知って欲しい。

何よりも学生自らが精一杯学生生活を楽しみたい!!』

LIPDUBはこのコンセプトをもとに、学生自ら企画立案し、現在までに2作品が作成されました。LIPDUBとは、好きなアーティストの楽曲に合わせて、ロパクで、自由なスタイルで、自分たちだけのオリジナルミュージックビデオを作る映像作品であり、YOUTUBEなどの動画投稿サイトを通して世界中で話題となっています。本学でのLIPDUBは、健康スポーツ学科西原ゼミとRiRiが共同で作成し、両作品とも約100名程度の学生が携わり、学校中を巻き込むダイナミックなパフォーマンスや学生同士の一体感などを伝え、学生が自ら考えて行動するきっかけとして今後も発展していくことでしょう。実際のLIPDUBの映像は、以下のURLもしくはYOUTUBEで「新潟医療福祉大学LIPDUB」で検索して頂ければ御覧になれます。





第1回LIPDUB http://www.youtube.com/watch?v=5seR6rFgw3k 第2回LIPDUB http://www.youtube.com/watch?v=BwsDWyRghyY お知らせ

大学院

# 新潟医療福祉大学 医療福祉学研究科

第10期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして同窓生の皆さ ん、お元気ですか?大学院が設立され今年で10年目を迎えます。これまでに大 学院で学んだ皆さんは、より高い専門知識を身につけ、それぞれの職場でさら にご活躍のことと思います。

本学大学院では、社会人の方も通学しやすい昼夜開講制に加え、長期履 修生制度、各種奨学金制度など、様々な面で皆さんの「学びたい」をサポート しています。キャリアアップを目指している方、少しでも興味をお持ちの方はお 気軽にお問い合わせください。

#### ■ 修学をサポートする制度

- ○本学卒業生は、入学金半額(10万円)免除
- ○平日は18:10から授業スタート。土曜開講や集中講義もあります。
- ○長期履修生制度(修士:最長4年、博士後期:最長6年)
- ○教育訓練給付金指定講座(長期履修は一部対象外)

#### ■各種奨学金制度

#### ○大学院無利子貸与奨学金

(学費の全額または半額を無利子で貸与)

○修士課程学費減免特待生制度

(2年間の合計減免金額 第一種:950,000~1,100,000円、 第二種:650,000~850,000円)

- ○特別研究奨学金(卒業生対象、年間15~20万円を給付)
- ○修学援助奨学金(2年時に15~20万円を給付)

#### 健康科学専攻

- 健康栄養学分野
- □ 健康スポーツ学分野
- 看護学分野

#### 保健学専攻

- 理学療法学分野 作業療法学分野
- 言語聴覚学分野
  - 義肢装具自立支援学分野
  - (平成27年4月新設予定)

医療福祉学 専攻

#### 社会福祉学専攻

- □ 保健医療福祉政策·計画·運営分野
- □ 保健医療福祉マネジメント学分野

医療情報: 経営管理学専攻

□ 医療情報·経営管理学分野 (平成26年4月新設)

さらに高度な専門知識や専門技術、問題解決能力を習得し、 次代の保健・医療・福祉・スポーツ分野を担う、研究者・指導者・高度実践専門職業人を目指す。



#### 平成26年度ょり

「医療情報・経営管理学分野」新設!

平成26年4月に新設される医療情報・経営管理学 分野では、患者(利用者)満足度、病院(施設)経営の質 と効率性の向上を遅延させているクリティカル・パスを 同定し、改善策を見つけることに貢献できる、時代の流 れに即応した医療情報管理の専門家を養成します。



\*資料請求やお問い合わせは本学大学院入試事務室まで。 TEL:025-257-4455(代) FAX:025-257-4456 E-mail:grnyuusi@nuhw.ac.jp

# 同窓会ホームページのお知らせ

皆さん、同窓会ホームページをご覧になって いますか?

母校や同窓会の最新ニュースは日々更新 しています。また、活躍している卒業生を紹介 する「卒業生は今!」や、「こころに届くいい話」 は随時更新しています。是非、定期的にご覧 ください。また、同窓生の方に役員が寄稿のお 願いをしております。役員から依頼があった際 は、ご協力をお願いいたします。



# 会員情報・住所変更届のお願い

住所・勤務先・氏名の変更などは、同窓会トップページの「会員情報・住所 変更届出」から手続きをお願いいたします。

また、同窓会に関するご意見・お問い合わせ・投稿は、

E-mail: dosokai@nuhw.ac.jp

同窓会サイトについて(会員情報・住所変更届出)

http://www.nuhw-dosokai.jp/

#### 集後 Hennsyu-kouki

春陽の候、陽だまりの暖かさが増してくる季節になりました。

10期生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今年度は連携研修会や、前年までとは違った形で行ったホームカミングデーなど、同窓会にとっては新しい ことにチャレンジした年だったと感じています。反省点も多く、課題もたくさん見つかりましたが、とても有益な時 間を共有させていただいたことを感謝致します。

まだまだ同窓会って何しているの?という方も多いと思いますが、皆さまや大学との繋がりを大切にし、有益 な活動を行っていけるよう邁進していきたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしています!

(作業療法学科2007年卒 大滝直子)



# 新潟医療福祉大学同窓会

お問い合わせ先:新潟医療福祉大学 事務局内 同窓会支援室

- ●新潟市北区島見町1398番地 ●メールアドレス dosokai@nuhw.ac.jp
- 025-257-4455 ●電話番号